

第二次松戸市社会教育計画（素案）
（令和5年度～令和12年度）

令和5年1月
松戸市教育委員会

目次

第1章 計画の概要	1
1 計画策定の考え方	1
2 計画の位置づけ	1
3 計画の期間	2
第2章 松戸市の状況と社会教育をとりまく課題	3
1 国の政策や法制度の改正等	3
2 松戸市の人口・社会教育施設の状況	5
3 市民の社会教育活動の実態	11
4 課題と対応の考え方	14
第3章 計画の基本的な考え方	16
1 基本理念と期待する姿	16
2 施策の体系	17
第4章 施策の方向と計画事業	20
1 計画事業と目標	20
2 重点目標	33
第5章 計画の推進に向けて	35
1 計画の推進体制	35
2 計画の進行管理	35
【資料編】	36
社会教育に関する提言書	36
計画策定の体制	40
策定経過	46
松戸市の社会教育に関するアンケート調査結果概要	49
用語解説	65

第1章 計画の概要

1 計画策定の考え方

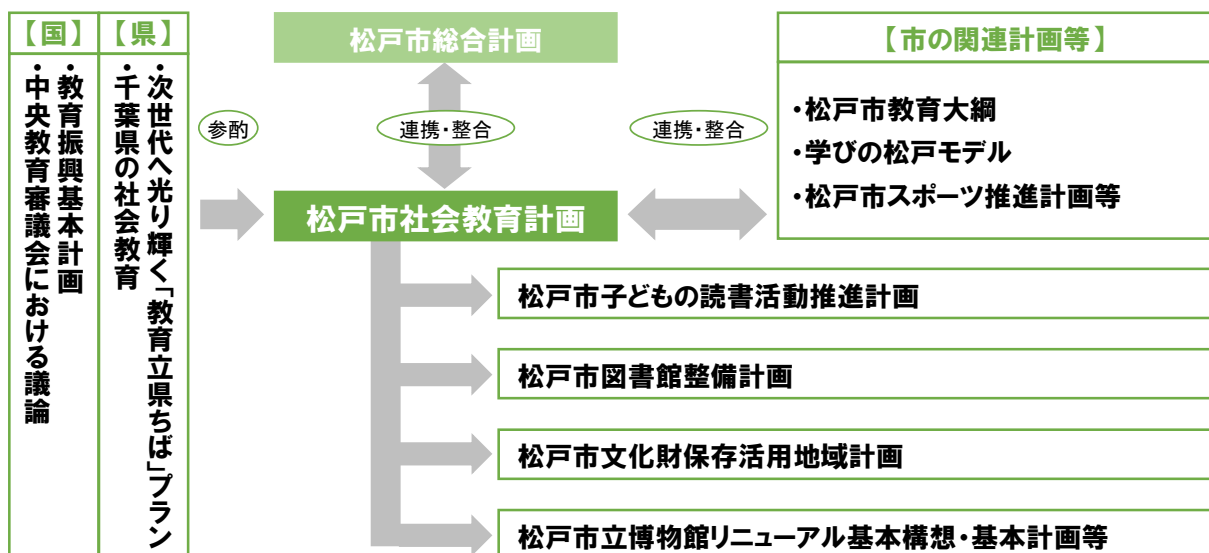
本市では、平成27年5月に「松戸市社会教育計画」を策定し、地域や学校社会教育団体等と連携・協働して社会教育の一層の振興を図ってまいりました。しかし、社会教育を取り巻く社会環境の変化や新型コロナウイルス感染症の拡大等を契機とした仕事や生活様式の変化など従来の施策では対応が困難な新たな課題等も見られます。こうした中で、本市は令和2年度に「学びの松戸モデル」を策定し、「ことばを育み 人がつながる 学びの松戸～文化と教養のまちづくり～」を基本理念に定め、2030年に向けた教育施策の方針を示したところです。

そこで、「松戸市社会教育計画」の計画期間が終了することに伴い、「学びの松戸モデル」を踏まえて、「第二次松戸市社会教育計画」（以下「本計画」という。）を策定しました。これは、一生涯にわたり、市民一人ひとりのライフステージに応じた学びを支え、松戸市の将来像や市民が潤いのある生活をするために、本市が果たす役割と方向性を示したものです。

2 計画の位置づけ

本計画は、上位計画である松戸市総合計画や松戸市教育大綱、教育委員会の指針である「学びの松戸モデル」、社会教育に関する各種個別計画等との整合を図るとともに、国の教育振興基本計画や中央教育審議会における議論も参酌して策定します。

図表 計画の位置づけ

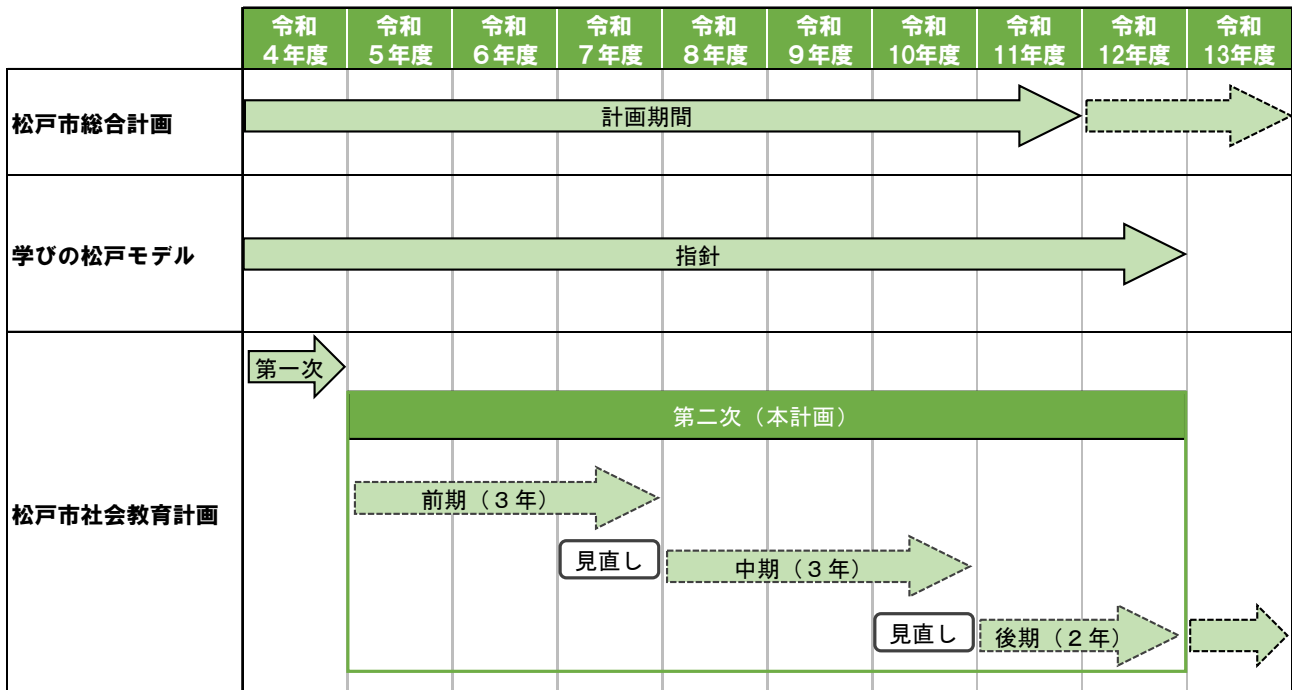


3 計画の期間

本計画は、2030年（令和12年）に向けた指針である「学びの松戸モデル」における社会教育分野の推進に向けた方向性を示すものです。そこで、計画の期間を令和5年度から令和12年度の8年間とし、長期的な視点に立った取組を計画的に進めます。

一方で、社会情勢の変化にも適切に対応できるよう、3年ごとに計画事業の見直しを行います。

図表 計画の期間



第2章 松戸市の状況と社会教育をとりまく課題

1 国の政策や法制度の改正等

○第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」（令和元年12月）

出生率の低下によって引き起こされる人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を維持することを目的とした地方創生を推進する上で、4つの基本目標と2つの横断的な目標が示されました。このうち、【横断的な目標1】多様な人材の活躍を推進する において、地域の担い手を確保するため、社会教育関係の人材や施設を始め、地域における多様な民間団体等との連携を図り、地域人材の育成等を行うことが重要と示されました。

○人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について（答申）中央教育審議会第212号（平成30年12月）

「社会教育」を基盤とした、人づくり・つながりづくり・地域づくりに向けた具体的な方策として①学びへの参加のきっかけづくりの推進 ②多様な主体との連携・協働の推進 ③多様な人材の幅広い活躍の促進 ④社会教育の基盤整備と多様な資金調達手法の活用等 の4つの方策が掲げられました。

また、今後の社会教育施設の在り方、求められる役割として、地域の学習拠点としての役割に加え、地域コミュニティや防災の拠点としての役割、個人のスキルアップの支援や学校教育との連携等が示されています。

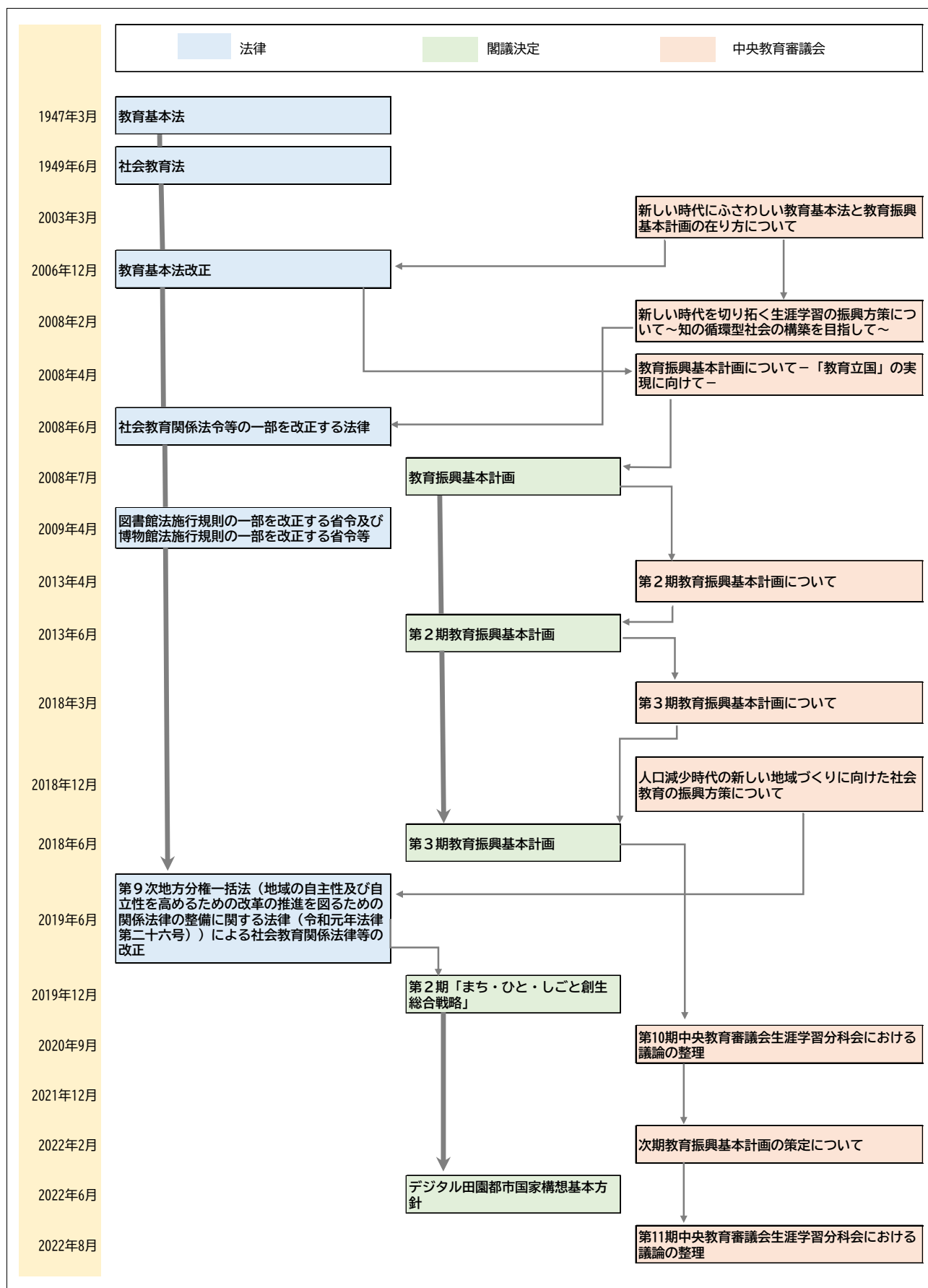
○デジタル田園都市国家構想基本方針（令和4年6月）

デジタル田園都市国家構想の実現に向けた取組方針の一つとして、魅力的な地域をつくるために地域コミュニティ機能の維持・強化が重要な要素であるとされました。その上で、公民館・図書館などの社会教育施設の活用促進等、多様な組織や主体がデジタル技術も活用して連携し、地域コミュニティの補完的な取組を進め、安心して暮らせる地域をつくる必要があると示されました。

○第11期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理（令和4年8月）

生涯学習・社会教育が果たしうる役割として、ウェルビーイングの実現に寄与すること、地域コミュニティの基盤となること、社会的包摂の実現を図ることが挙げられました。その上で、今後の振興方策としては、①公民館等の社会教育施設の機能強化 ②社会教育人材の養成と活躍機会の拡充 ③地域と学校の連携・協働の推進 ④リカレント教育の推進 ⑤多様な障害に対応した生涯学習の推進 などが必要とされています。

図表 これまでの社会教育を中心とした国の取組状況

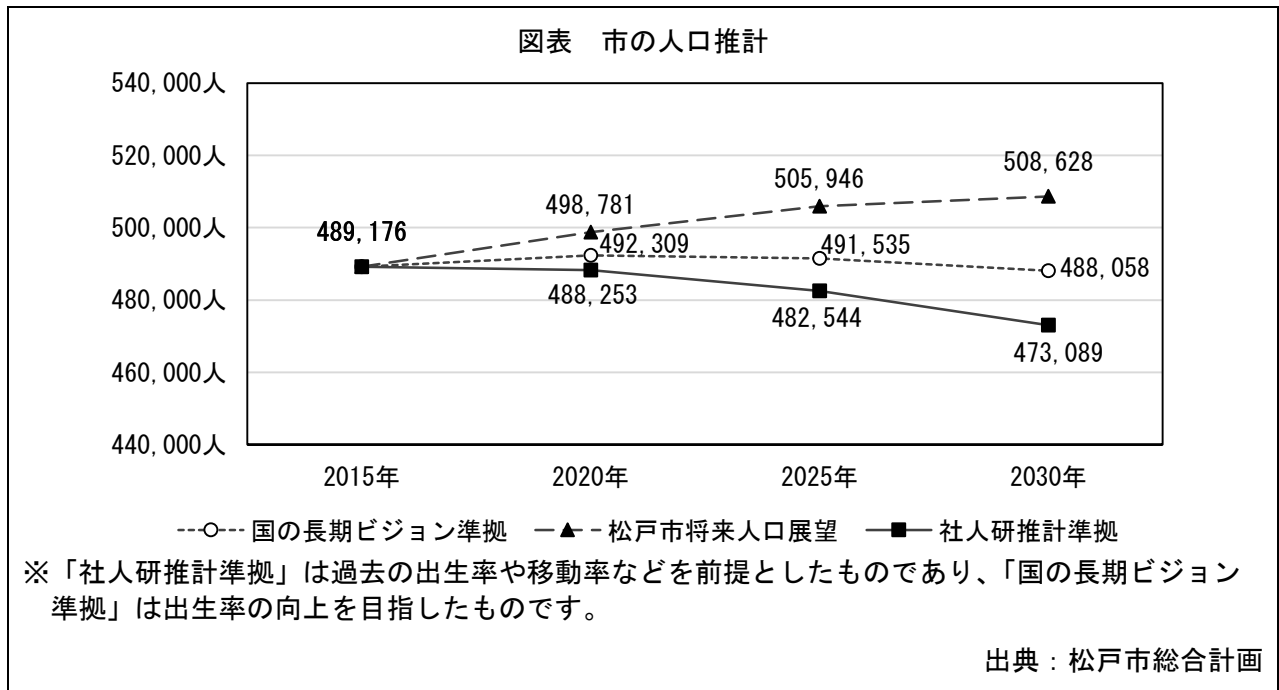


2 松戸市の人口・社会教育施設の状況

(1) 松戸市の人口

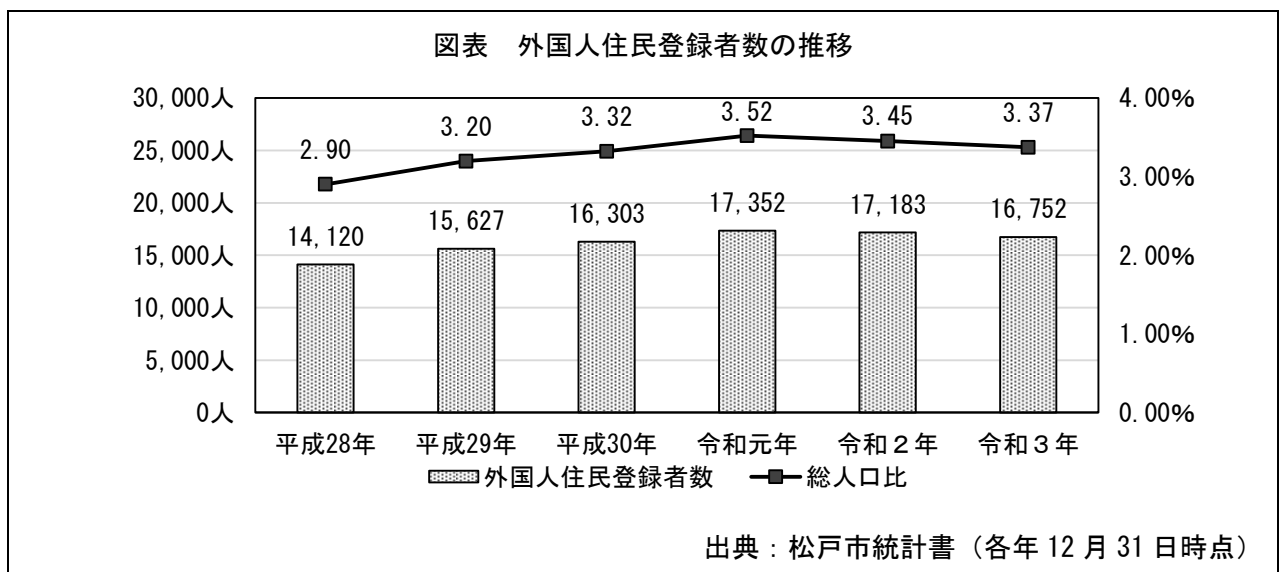
①総人口の推移

本市では、持続的な発展を目的として、2030年まで人口を50万人規模で維持することを展望しています。「出生率の上昇」と「転入の促進」、「若年層の転入傾向の維持」に向けた的確な施策を展開していくことにより、松戸市将来人口展望を達成することを目指しています。



②外国人住民登録者数の推移

本市の外国人住民登録者数はおおむね増加しています。平成28年の14,120人から令和元年には17,352人となりましたが、令和3年には減少して16,752人となっています。総人口比も上昇しており、平成28年の2.90%から令和3年には3.37%と0.47ポイント高くなっています。



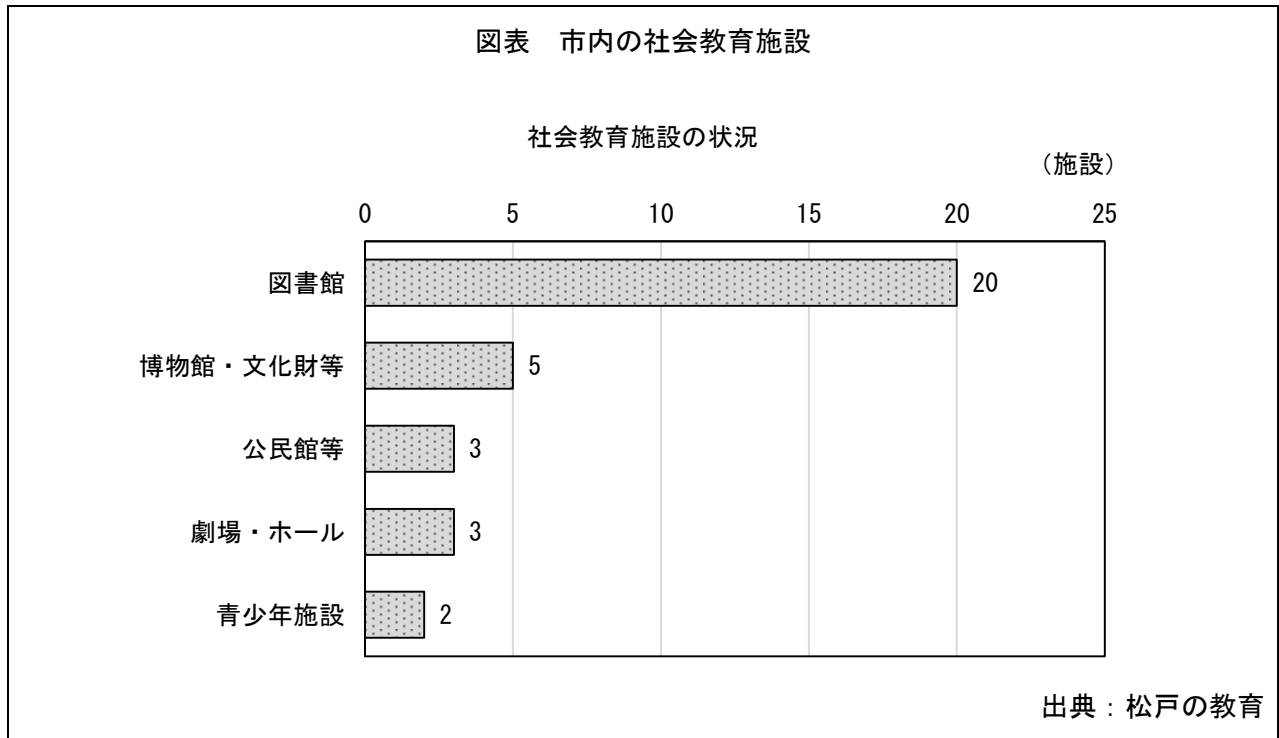
(2) 松戸市の社会教育施設

①市内の社会教育施設

市内には、全部で 33 の社会教育施設があります。

最も多いのが図書館で、本館・地域館・分館を合わせると 20 施設となっています。特に、地域館・分館は市内に 19 か所もあり、市内のどこからでもアクセスがしやすくなっています。

一方で、図書館分館の 8 割以上が建設後 30 年以上経過、市民会館は建設後 50 年以上、市民劇場・公民館・青少年会館はそれぞれ建設後 30 年以上経過しており、社会教育施設全般の老朽化が進んでいます。



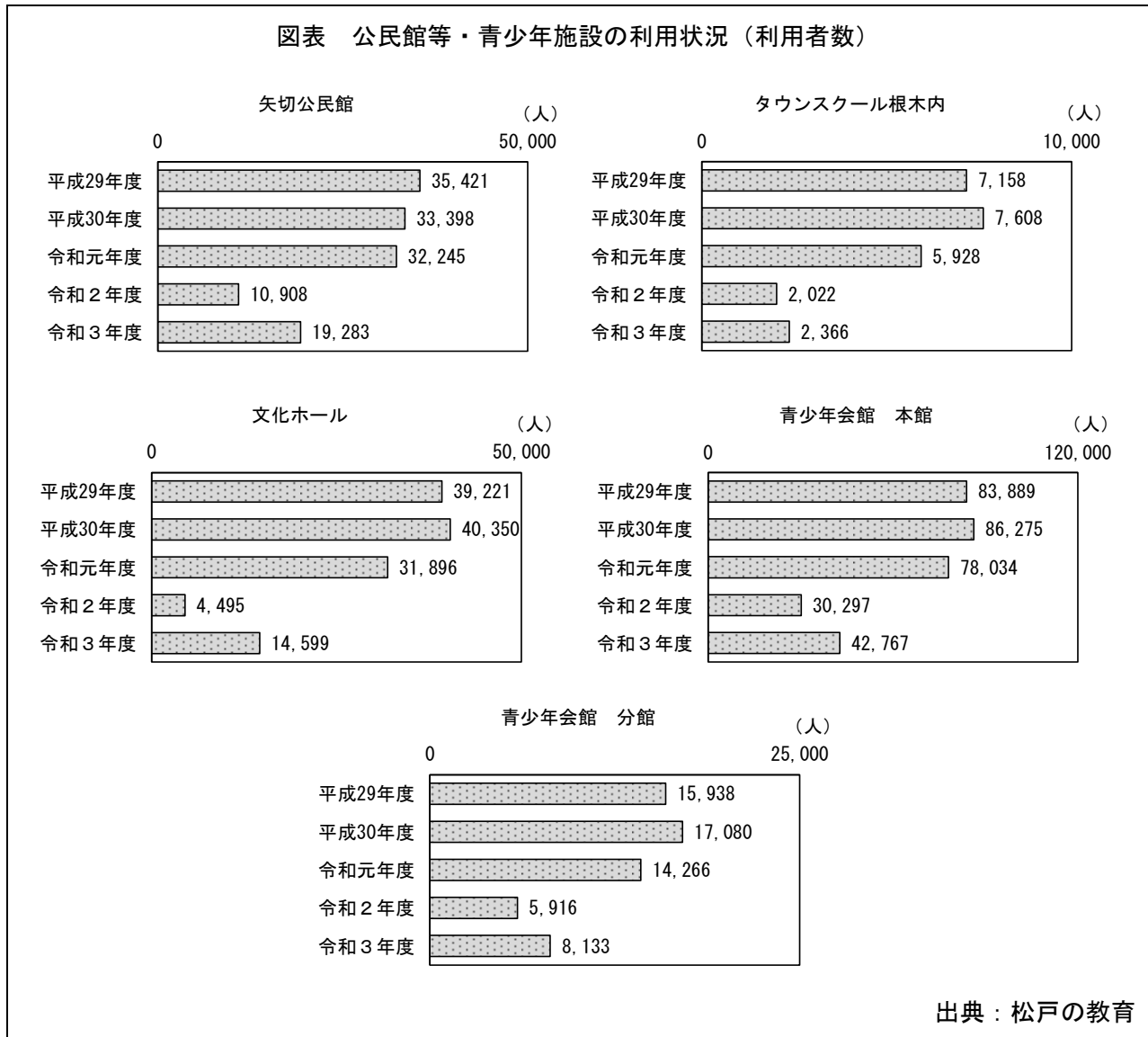
図表 社会教育施設の一覧

施設分類	施設名称
図書館	本館／東松戸地域館／常盤平分館／稔台分館／小金原分館／矢切分館／馬橋分館／古ヶ崎分館／五香分館／小金分館／明分館／六実分館／新松戸分館／馬橋東分館／小金北分館／松飛台分館／二十世紀が丘分館／八柱分館／八ヶ崎分館／和名ヶ谷分館
博物館・文化財等	博物館／戸定歴史館／戸定邸／松雲亭／旧齋藤邸
公民館等	矢切公民館／タウンスクール根木内／文化ホール
劇場・ホール	市民劇場／文化会館／市民会館
青少年施設	青少年会館／青少年会館(樋野口分館)

②各種施設の利用状況（利用者数）

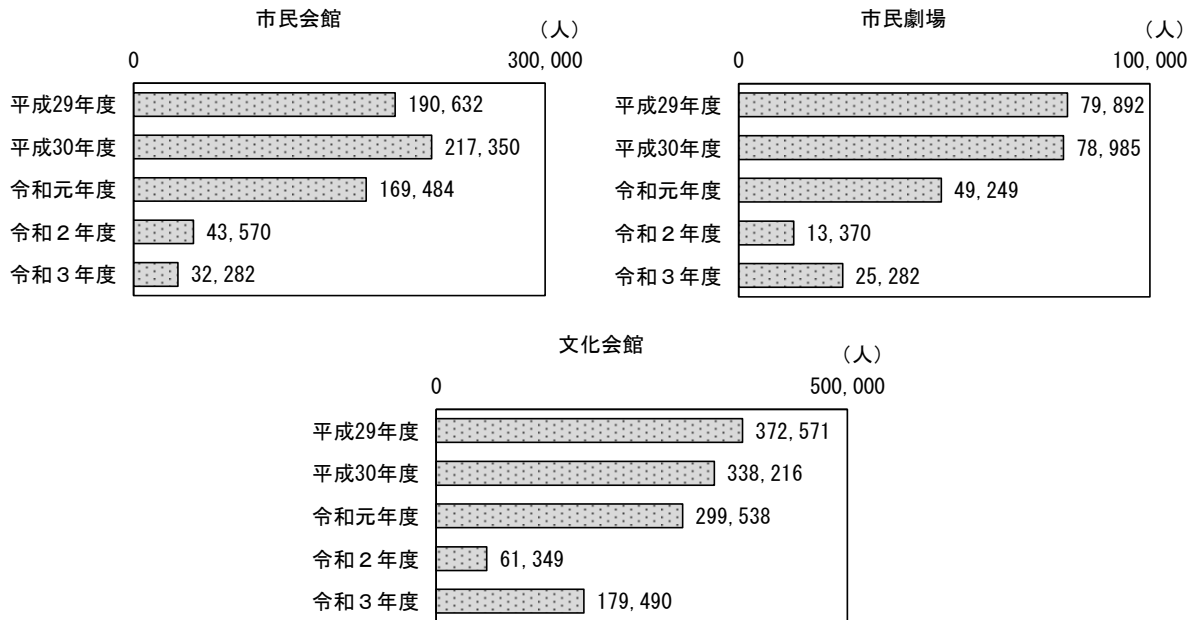
公民館等・青少年施設の利用状況を見ると、公民館等・青少年施設の多くでは、新型コロナウイルスの影響で令和元年度に減少に転じ、令和2年度で大きく減少しています。

令和3年度は利用者数が回復傾向にあります。タウンスクール根木内・文化ホールの利用者数は令和元年度以前の半分にも達していません。



劇場・ホールの利用状況（利用者数）を見ると、市民会館は平成30年度まで増加が見られましたが、新型コロナウイルスの影響で令和元年度以降に大きく減少しています。一方で市民劇場・文化会館は平成29年度から令和2年度にかけて減少が続きました。市民会館のみ、令和3年度も継続して利用者数が減少しています。

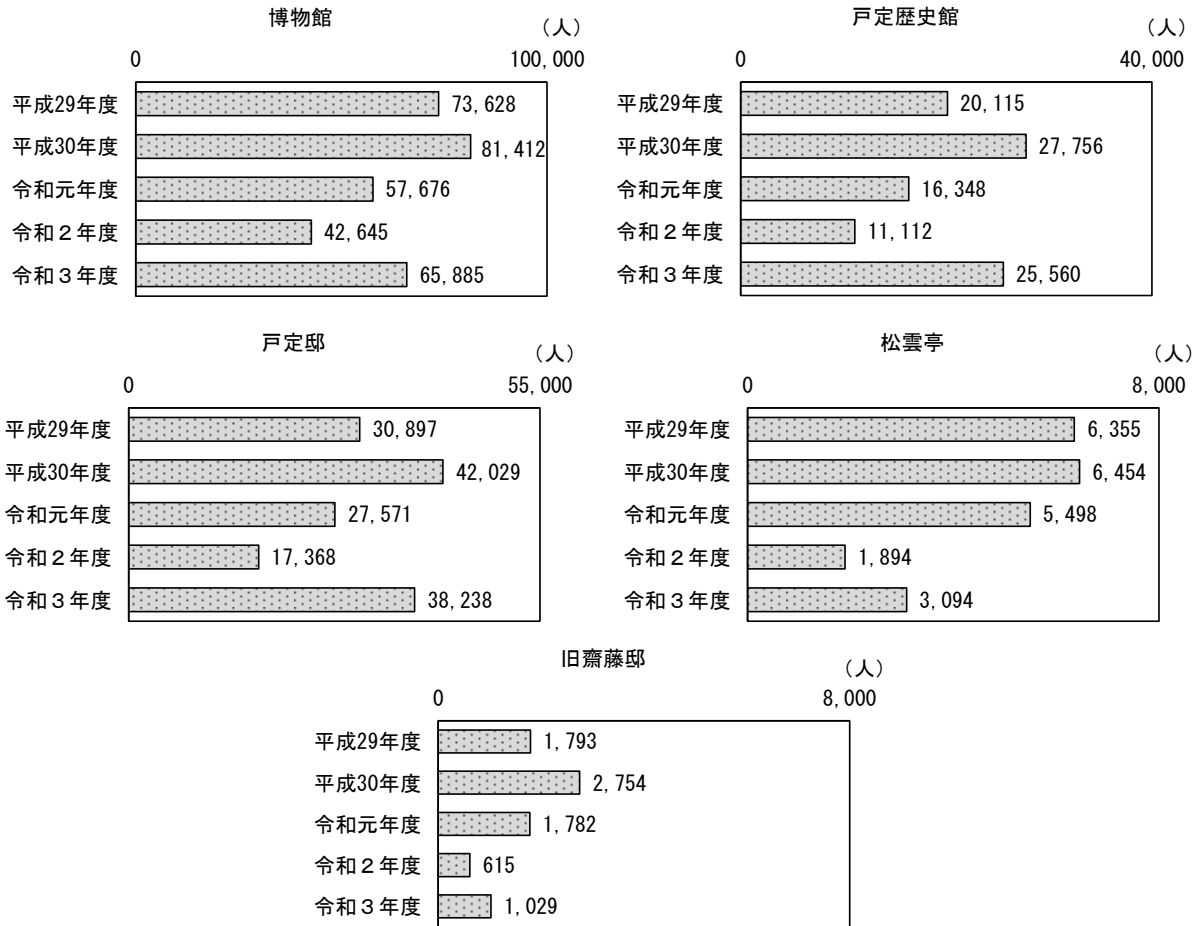
図表 劇場・ホールの利用状況（利用者数）



出典：松戸の教育

博物館・文化財等の利用状況（利用者数）を見ると、博物館・文化財等では新型コロナウイルスの影響で令和2年度は大きく減少しましたが、令和3年度はおおむね回復しています。

図表 博物館・文化財等の利用状況（利用者数）

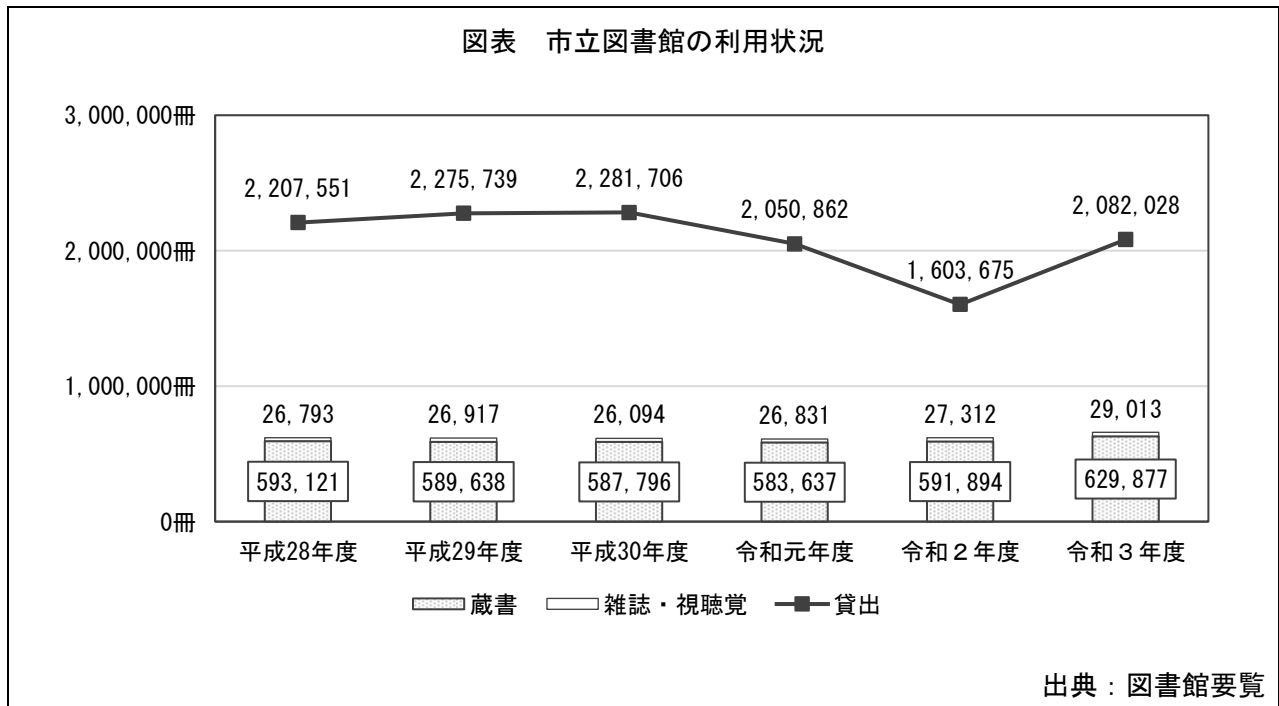


出典：松戸の教育等

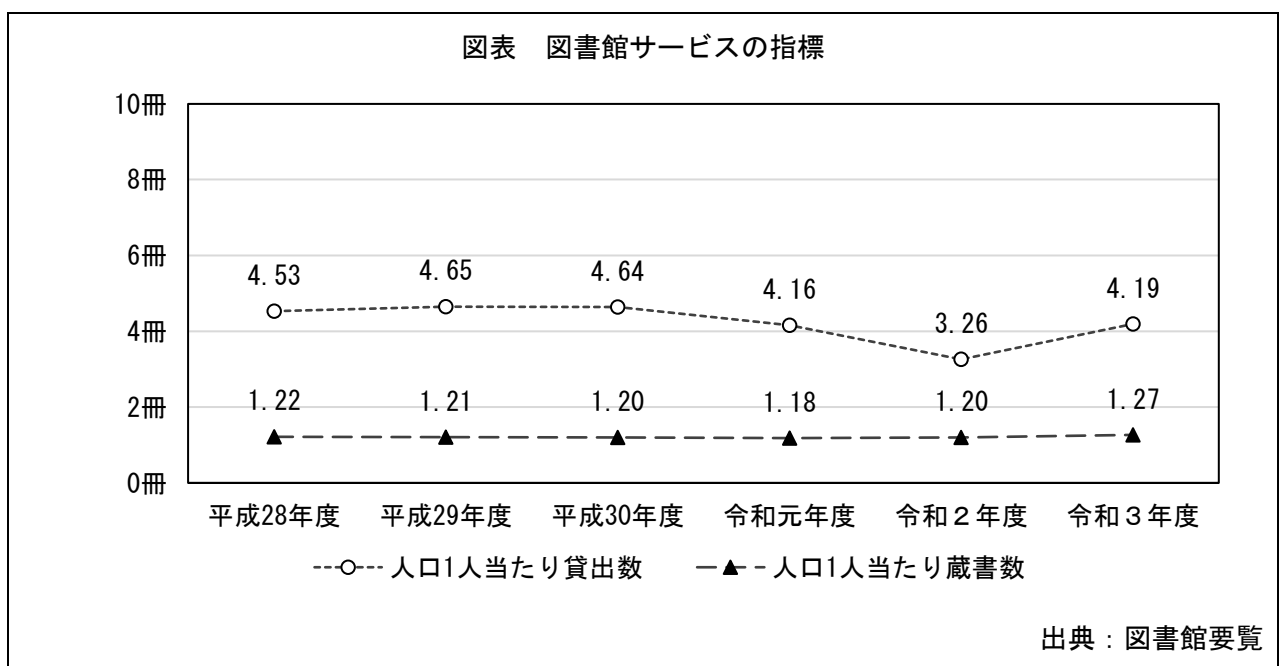
③図書館の利用状況とサービスの指標

図書館の利用状況を見ると、蔵書冊数は令和3年度に約63万冊まで増加しています。

一方で、貸出冊数は平成27年度から平成30年度にかけて増加していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で令和元年度には減少しました。令和3年度には令和元年度と同程度に回復しています。



図書館サービスの指標を見ると、人口1人当たり蔵書数はおおむね1.2冊台で推移しています。一方で、人口1人当たり貸出数は平成28年度から令和元年度まで4冊台で推移していましたが、令和2年度には3.26冊まで減少しました。令和3年度には4.19冊まで回復しています。

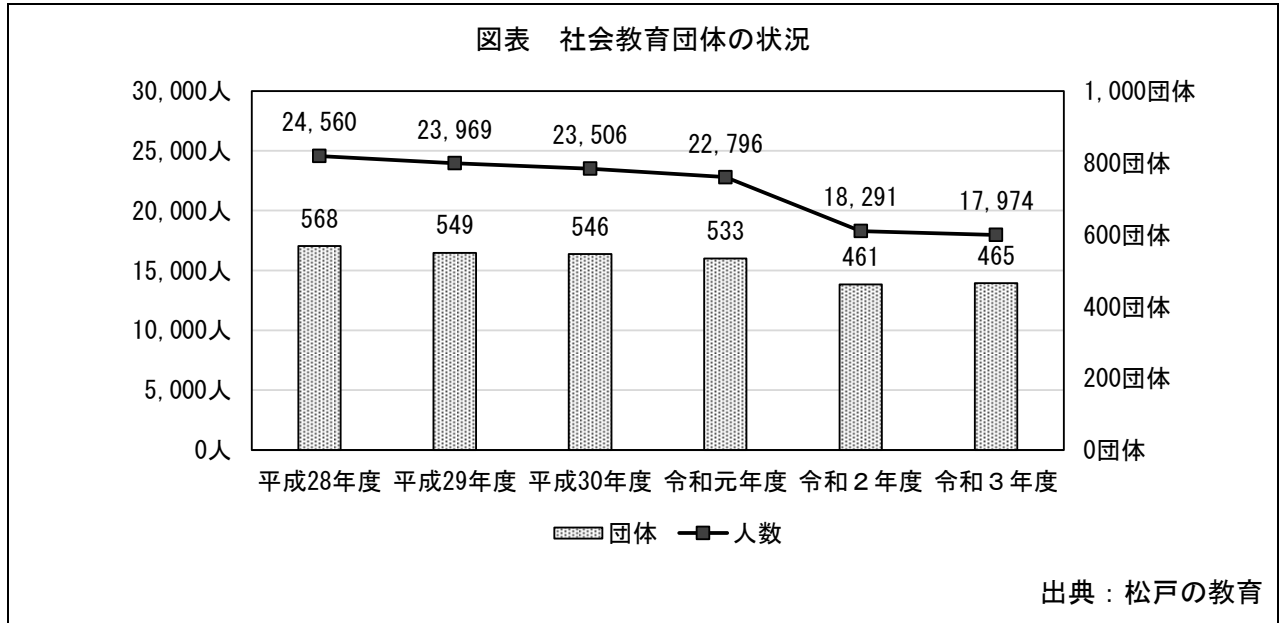


3 市民の社会教育活動の実態

(1) 社会教育団体・受講者数

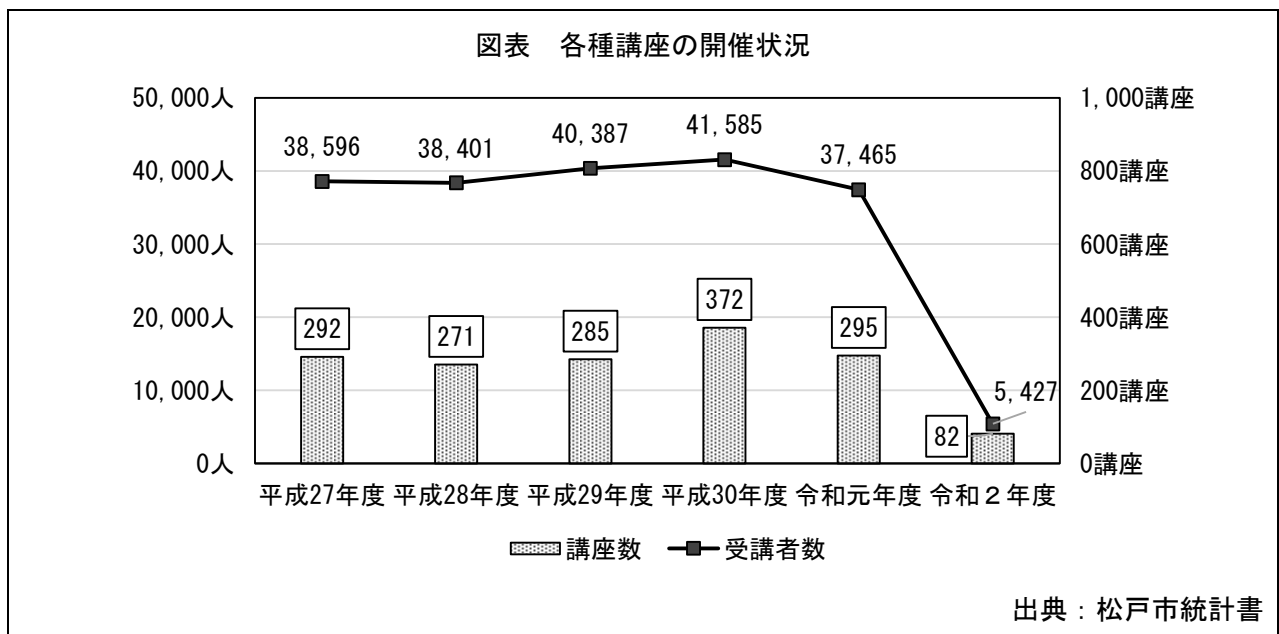
①社会教育団体の状況

社会教育団体の状況を見ると、団体数及び人数は、平成28年度から令和3年度にかけて減少傾向にあります。団体数は465団体台、人数は約1万8千人となりました。



②各種講座の開催状況

各種講座の開催状況を見ると、講座数及び受講者数は、平成27年度から平成30年度にかけておおむね増加傾向にありました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で令和元年度以降大きく減少しました。令和2年度の講座開催数は82講座となっています。

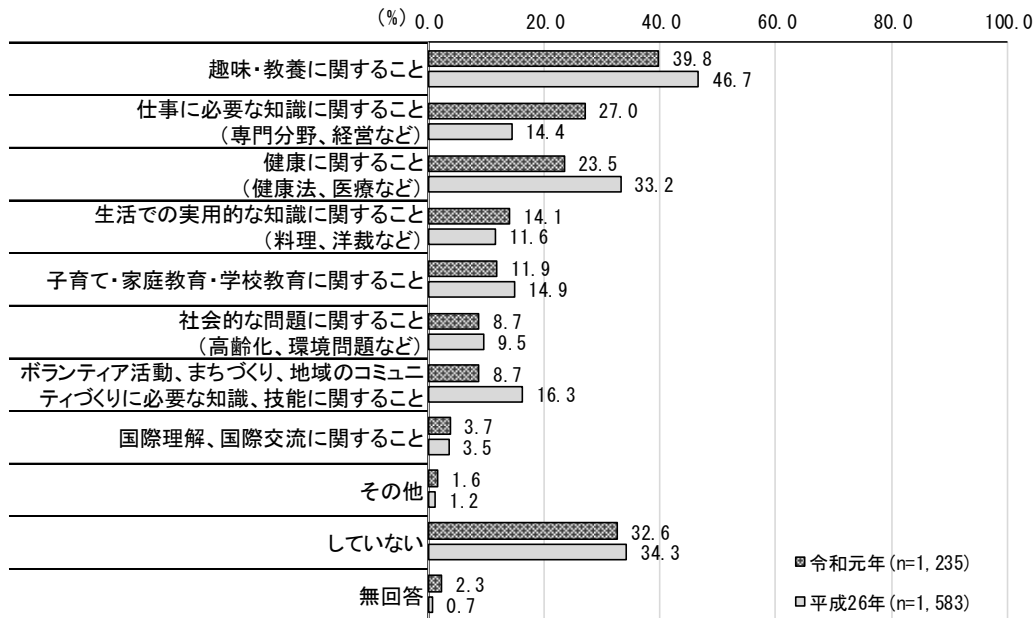


(2) アンケート結果

①この1年にどんな学習（生涯）をしたか<市民意識調査>

○この1年にどんな学習（生涯）をしたか聞いたところ、「趣味・教養に関すること」（39.8%）が4割弱と最も高くなっている一方で、「していない」（32.6%）も3割強と高くなっています。

図表 この1年にどんな学習（生涯）をしたか

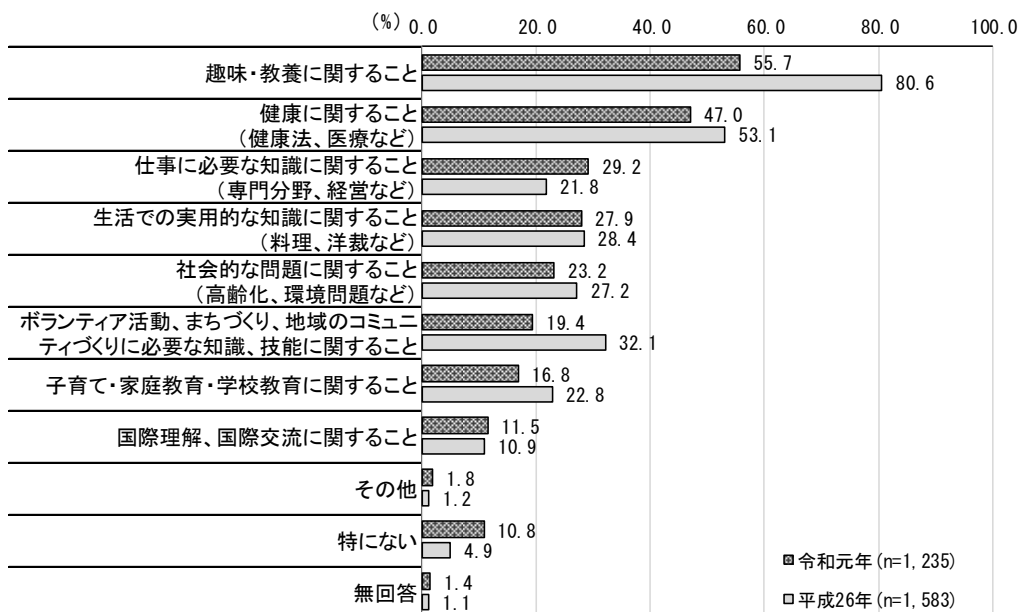


②どんなことを学びたいか<市民意識調査>

○今後どんなことを学びたいか聞いたところ、「趣味・教養に関すること」（55.7%）が5割台半ば、「健康に関すること（健康法、医療など）」（47.0%）が4割台後半と特に高くなっています。一方で、「特にない」（10.8%）も約1割見られます。

○平成26年調査と比較すると、多くの項目で低下が見られる一方で、「仕事に必要な知識に関すること（専門分野、経営など）」が7.4ポイント上昇しています。

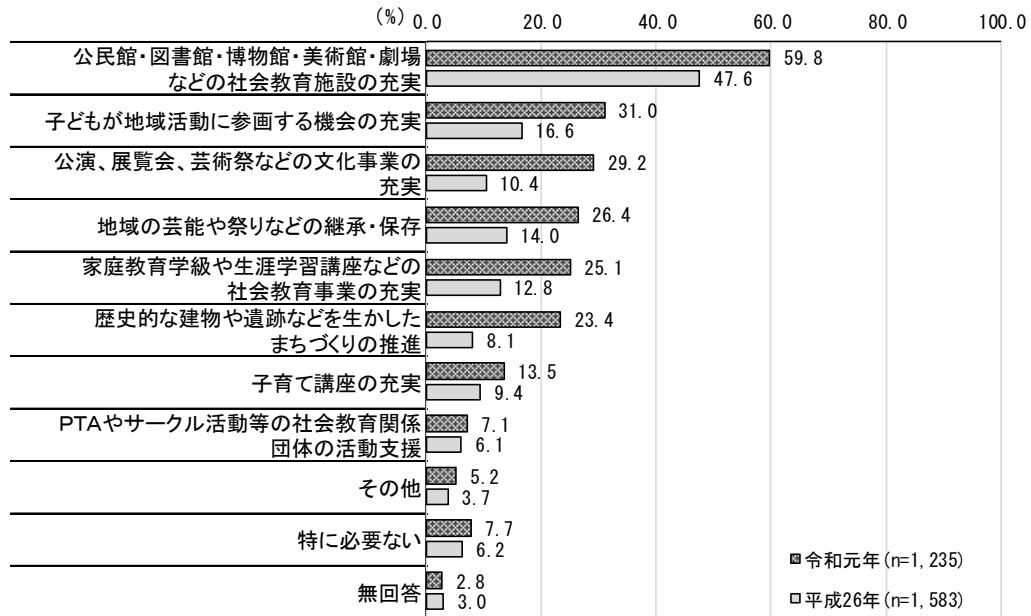
図表 どんなことを学びたいか



③地域の学習環境を充実させるために必要なこと<市民意識調査>

○地域の学習環境を充実させるために必要なことを聞いたところ、「公民館・図書館・博物館・美術館・劇場などの社会教育施設の充実」(59.8%)が6割弱と特に高くなっています。

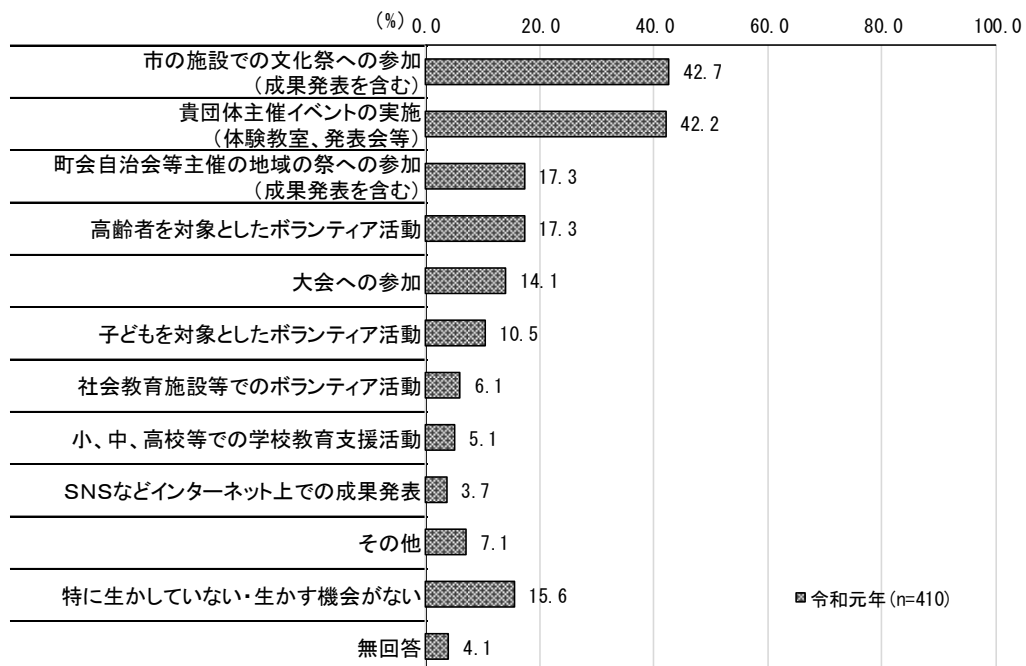
図表 地域の学習環境を充実させるために必要なこと



④学習成果の活用の仕方<団体アンケート調査>

○学習成果の活用の仕方を聞いたところ、「市の施設での文化祭への参加(成果発表を含む)」(42.7%)と「貴団体主催イベントの実施(体験教室、発表会等)」(42.2%)が4割強と特に高くなっています。

図表 学習成果の活用の仕方



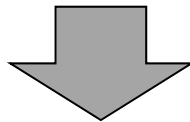
4 課題と対応の考え方

(1) 「学ぶ内容・機会」に関する課題と対応の考え方

課題 市民の主体性を育む学びの内容・機会の充実

国連の「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に掲げられた持続可能な開発目標（SDGs）の目標の一つに「すべての人々へ包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」ことが挙げられています。

2030 年に向けた松戸市教育委員会の指針「学びの松戸モデル」では、ライフステージに応じた学びがあるという広い視野から、家庭教育、幼児期の教育、学校教育、社会教育それぞれの学びを通じて、市民一人ひとりが「自立」「誇り」「つながり」を持てるようになることをめざしています。本市特有の歴史文化を知り、次代へ引き継ぐとともに、多様性への配慮や新たな松戸の価値や魅力も含めて、市民一人ひとりが考えられるような学びのきっかけづくりの充実が必要です。



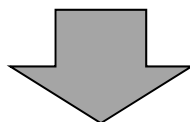
対応の方向性 市民の自立・誇り・つながりを育む学びの機会を充実します

(2) 「学ぶ環境・システム」に関する課題と対応の考え方

課題 学びの環境の充実

市民意識調査結果では、市民の約6割が社会教育施設の充実が必要と回答しており、図書館をはじめとする学びの拠点の整備や機能充実が求められています。また、博物館や文化会館など松戸の歴史文化の学びや文化芸術活動にとって必要な施設の老朽化に対応した大規模改修やバリアフリー化など、社会教育施設の計画的な整備、更新が必要となっています。

これに加えて、社会の環境変化に伴う市民の多様なニーズに対応し ICT 化など社会教育施設の機能を強化し、団体だけでなく個人のニーズにも応える自立した学びの拠点として学習環境の整備充実が求められています。



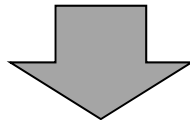
対応の考え方 市民の学びや文化活動の拠点となる社会教育施設の計画的な改修や整備を推進し、学びの環境の充実を図ります

(3) 「学びの支援」に関する課題と対応の考え方

課題 地域の社会的包摂を目指した社会教育の推進

全ての市民が安全・安心でより豊かに日々を過ごすためにも、だれ一人社会に取り残されることなく生きがいを感じることができるような社会的包摂のある地域づくりを目指していくことが重要です。そして、社会教育はこの実現に向けて大きな役割を担っており、社会教育団体をはじめとする市民の文化や芸術活動は地域コミュニティのつながりの維持継続にとって必要不可欠となっています。また、市内の外国人は平成28年から令和3年にかけて2,500人以上増加しており、こうした方々とも相互に理解して共生できる環境をつくることが重要です。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、地域の活動が大きく制限されたことによりオンラインの講座や交流などICT化が促進するとともに、社会教育活動における人と人の対面での交流や学びの重要性があらためて認識されるようになりました。こうしたことをふまえ、市民の誰もが関わることのできる学びを通じて、団体・家庭・学校など多様な主体が地域の実情に応じて連携を進めることが大切です。



対応の考え方 地域や団体・家庭・学校など多様な主体と社会教育施策や施設との連携により市民の学びを支えます

第3章 計画の基本的な考え方

1 基本理念と期待する姿

本計画は、本市の教育が進みゆく方向性を示した「学びの松戸モデル」に基づき各種取組を推進していくことから、基本理念についても整合を図り以下のように設定します。

ことばを育み 人がつながる 学びの松戸
～文化と教養のまちづくり～

【基本理念に込められた意味】

基本理念の大きな柱を、「ことば」と「つながり」の2つの概念としています。

「ことば」はヒト科のヒトだけが身に付けた能力であり、ヒトは「ことば」を交わすことにより、仲間をつくり、コミュニティをつくり、文化を発展させてきました。「ことば」は人間社会の礎といえます。その「ことば」から、文字が生まれました。文字は、それまで直接会うことでしか生まれなかった「つながり」の質を変えました。距離を超え、時間を超えて、直接会うことのできない人と「つながり」を生み出すことができるようになったのです。

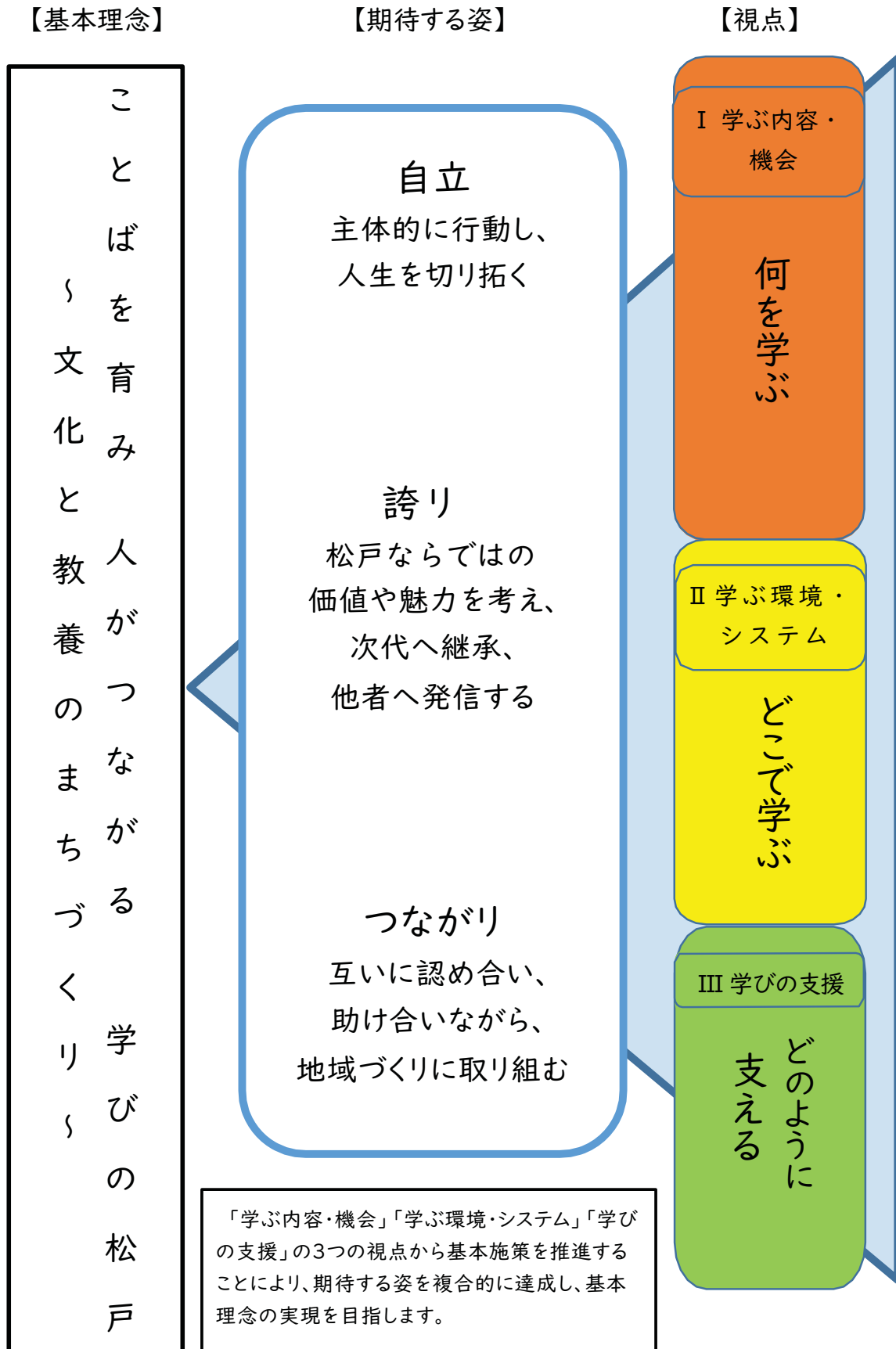
多様性が進み、一層コミュニケーションの必要性が高まる中で、ICTの急速な進化などの影響として、「ことば」や「つながり」の意味合いが大きく変わってきています。

これからの正解の見えにくい時代においては、「ことば」が人と人との「つながり」の中で根本の要素であることを改めて認識し、これまで以上に異なる価値観や考え方を認め合いながら、文化を育み、教養を高めるまちを形づくっていく必要があります。

以上の考えをもとに、「ことばを育み 人がつながる 学びの松戸～文化と教養のまちづくり～」を、2030年に向けた本市の教育における基本理念とします。

2 施策の体系

2030年に向けた松戸市教育委員会の指針「学びの松戸モデル」は以下のとおりです。



【基本施策】

I-1 歴史・文化・伝統・芸術を学ぶことができるようにします<子どもから大人まで>

- 文化財の保存や活用による歴史的・文化的資源への興味・関心を高めます
- 博物館の展示リニューアルにより、松戸の歴史的価値を伝えます
- 戸定歴史館の魅力を高めます
- 「音楽のまち松戸」を推進します

I-2 市民の主体性を育みます<子どもから大人まで>

- 豊かな教養を育む機会の充実を図ります
- 青少年に多様な体験や交流、学びの機会の充実を図ります
- 家庭教育力の向上を支援します
- 市民の文化・芸術活動や自主的な学びの充実を図ります
- 宇宙や科学の楽しさを知る機会の充実を図ります

I-3 スポーツを楽しむことができるようにします<子どもから大人まで>

- 「みる」「ささえる」スポーツの充実を図ります
- 気軽にスポーツを楽しむ機会の充実を図ります

I-4 子どもたちに知徳体バランスの取れた「生きる力」を育みます<小中学校児童生徒>

- 学習の基盤となる日本語・英語・情報活用等の能力を育みます
- 思いやりのある豊かな心を育む道徳教育・人権教育を推進します
- 健やかな体を育む学校体育・学校健康教育を推進します

II-I 学びたいときに学べる環境をつくります<子どもから大人まで>

- 図書館機能を向上させ、文化・社会教育施設と連携した学びやすい環境づくりを進めます
- 松戸駅周辺の文化拠点整備を推進します
- 「21世紀の森と広場」周辺の文化施設の交流を推進します
- 文化・社会教育施設とスポーツ施設の老朽化対応及び再整備を進めます

II-2 子どもたちのためのよりよい教育システムを構築します<小中学校児童生徒>

- 特色ある学校づくりを推進します
- 特別支援教育を推進し、教育的ニーズに応えます
- 生き生きと学び続ける教職員を育みます
- 文化・社会教育と学校教育の連携を推進します

II-3 子どもたちのための安心・安全・快適な教育環境を確保します<小中学校児童生徒>

- 安心感をもって学べる環境の充実を図ります
- 小中学校施設の老朽化対応及び学習環境の整備を進めます
- 学校の危機管理と非常時の学びを保障するための取り組みを推進します

II-4 魅力ある市立高校づくりを進めます<市立高校生徒>

- 市立高校改革を推進します
- 市松生の学びを充実させる学習環境の整備を進めます

III-1 多様な主体の連携・協働で学びを支えます<子どもから大人まで>

- 学校・家庭・地域の連携や多様な人材の幅広い活躍により地域の教育力を向上させます
- 教育と福祉・医療の連携を推進します

III-2 学びたい市民の自主的な学びを支えます<子どもから大人まで>

- ICTを活用した学びの支援の充実を図ります
- 市民のための学習相談体制の充実を図ります
- 学び直しへのチャレンジを支援します

人権を尊重する市民意識を高めます

「学びの松戸モデル」のうち、社会教育に関する施策を抜粋して施策体系としました。3つの視点と、それに紐づく6つの基本施策を推進して、基本理念の実現を目指します。

【基本施策】

I 学ぶ内容・機会 「何を学ぶ」

I-1 歴史・文化・伝統・芸術を学ぶことができるようにします<子どもから大人まで>

- I-1-1 文化財の保存や活用による歴史的・文化的資源への興味・関心を高めます
- I-1-2 博物館の展示リニューアルにより、松戸の歴史的価値を伝えます
- I-1-3 戸定歴史館の魅力を高めます
- I-1-4 「音楽のまち松戸」を推進します

I-2 市民の主体性を育みます<子どもから大人まで>

- I-2-1 豊かな教養を育む機会の充実を図ります
- I-2-2 青少年に多様な体験や交流、学びの機会の充実を図ります
- I-2-3 家庭教育力の向上を支援します
- I-2-4 市民の文化・芸術活動や自主的な学びの充実を図ります
- I-2-5 宇宙や科学の楽しさを知る機会の充実を図ります

II 学ぶ環境・システム 「どこで学ぶ」

II-1 学びたいときに学べる環境をつくります<子どもから大人まで>

- II-1-1 図書館機能を向上させ、文化・社会教育施設と連携した学びやすい環境づくりを進めます
- II-1-2 松戸駅周辺の文化拠点整備を推進します
- II-1-3 「21世紀の森と広場」周辺の文化施設の交流を推進します
- II-1-4 文化・社会教育施設とスポーツ施設の老朽化対応及び再整備を進めます

II-2 子どもたちのためのよりよい教育システムを構築します<小中学校児童生徒>

- II-2-4 文化・社会教育と学校教育の連携を推進します

III 学びの支援 「どのように支える」

III-1 多様な主体の連携・協働で学びを支えます<子どもから大人まで>

- III-1-1 学校・家庭・地域の連携や多様な人材の幅広い活躍により地域の教育力を向上させます
- III-1-2 教育と福祉・医療の連携を推進します

III-2 学びたい市民の自主的な学びを支えます<子どもから大人まで>

- III-2-1 ICTを活用した学びの支援の充実を図ります
- III-2-2 市民のための学習相談体制の充実を図ります
- III-2-3 学び直しへのチャレンジを支援します

第4章 施策の方向と計画事業

1 計画事業と目標

視点Ⅰ 学ぶ内容・機会「何を学ぶ」

I-1 歴史・文化・伝統・芸術を学ぶことができるようにします

市民が地域の歴史・文化・伝統・芸術を学ぶことができ、それらをきっかけとした交流等を通じて、松戸に対する愛着を醸成するとともに、人と人とのつながりをつくります。

I-1-1 文化財の保存や活用による歴史的・文化的資源への興味・関心を高めます

No.	1	事業名称	地域における文化財の保存・継承		
担当課	文化財保存活用課		予算事業	文化財保護事業	
事業内容	市の地域文化の特徴を踏まえ、文化財の指定や保存を推進し、地域伝統芸能の継承に対する支援を行います。				
指標	文化財の本市指定件数※				
現状※ ²	44件		目標	54件	

※1. 指標に「※」が記されているものは、松戸市総合計画において「重要業績評価指標（KPI）」として掲げられた指標です。

※2. 現状について、年度の記載のないものは令和3年度です。

No.	2	事業名称	歴史や文化に触れる機会の提供		
担当課	文化財保存活用課		予算事業	文化財保護事業	
事業内容	文化財に関する啓発普及の取組により市民が歴史や文化財について学習を深める機会を提供します。				
指標	史跡や神社、仏閣など歴史・伝統文化遺産の満足度※				
現状	19.1%		目標	40%	

No.	3	事業名称	松戸市文化財保存活用地域計画の推進		
担当課	文化財保存活用課		予算事業	文化財保護事業	
事業内容	地域の歴史文化資源をまちづくりに活かしつつ地域総がかりで保存・活用につなげていくために市としての方針及び具体的な取り組みを含めた計画を策定し、保存・活用の取組を推進していきます。				
指標	「松戸市文化財保存活用地域計画」に定められた取組みの実施				
現状	計画策定中（一部取組実施）		目標	「松戸市文化財保存活用地域計画」において定めた、各取組みにおける目標値等において評価を行う	

No.	4	事業名称	専門職員の確保と育成	
担当課	文化財保存活用課 (本課・博物館・戸定歴史館)		予算事業	文化財保護事業 博物館歴史資産収集調査事業 美術文化関係事業 戸定歴史館管理運営事業
事業内容	各分野の学芸員の後継者確保と資質向上を図ります。学芸員が研究の質を高めるとともに展示や教育等の資料活用において新しい技術や他館の手法導入を図るため、研修等の機会の充実をします。			
指標	研修等参加回数			
現状	11回		目標	20回

No.	5	事業名称	子どもを対象にした歴史体験ができるプログラムの実施	
担当課	文化財保存活用課 (博物館)		予算事業	博物館学習支援事業
事業内容	小学生を対象に、縄文時代の歴史体験ができる「竪穴住居宿泊体験」を実施します。			
指標	参加者の満足度			
現状	— (新規事業)		目標	80.0%

No.	6	事業名称	美術展覧会の開催	
担当課	文化財保存活用課		予算事業	美術文化関係事業
事業内容	松戸ゆかりの美術作品を市民に紹介するため所蔵作品等を展示する展覧会を開催します。			
指標	美術展覧会観覧者数			
現状	2,142人 (令和2年度)		目標	3,000人

I-1-2 博物館の展示リニューアルにより、松戸の歴史的価値を伝えます

No.	7	事業名称	松戸市立博物館リニューアル基本構想・基本計画の推進		
担当課	文化財保存活用課（博物館）		予算事業	博物館展示事業	
事業内容	松戸市立博物館リニューアル基本構想・基本計画で策定した、常設展示リニューアルとこどもミュージアムの整備を推進します。				
指標	常設展示リニューアル・こどもミュージアム整備				
現状	松戸市立博物館リニューアル 基本構想・基本計画の策定中		目標	常設展示リニューアル・ こどもミュージアム整備完了	

No.	8	事業名称	企画展、館蔵資料展等の開催		
担当課	文化財保存活用課（博物館）		予算事業	博物館展示事業	
事業内容	課題解決を目的とした企画展、館蔵資料展を開催します。				
指標	観覧者数				
現状	37,796人		目標	45,000人	

I-1-3 戸定歴史館の魅力を高めます

No.	9	事業名称	戸定邸保存活用計画の策定		
担当課	文化財保存活用課（戸定歴史館）		予算事業	戸定歴史館管理運営事業	
事業内容	建造物の調査を実施して現状や課題を把握し、庭園と併せて保存・活用を図るため、戸定邸保存活用計画を策定します。				
指標	戸定邸保存活用計画の策定				
現状	計画策定に向けた検討・準備		目標	戸定邸保存活用計画の策定	

No.	10	事業名称	企画展等の開催		
担当課	文化財保存活用課（戸定歴史館）		予算事業	戸定歴史館管理運営事業	
事業内容	最後の水戸藩主・徳川昭武の事跡を中心に、企画展を開催するとともに、戸定歴史館が所蔵する歴史資源を活用したアートプロジェクトを実施することで、市民に学習活動の場、文化・芸術に触れる場を提供します。				
指標	戸定歴史館の入館者数*				
現状	63,798人		目標	65,000人	

No.	11	事業名称	地域や関係団体との連携の推進		
担当課	文化財保存活用課（戸定歴史館）	予算事業	戸定歴史館管理運営事業		
事業内容	市民が地域について関心をもつきっかけ作りを推進するため、隣接する千葉大学園芸学部やボランティアガイド、及び地域団体と連携した活動を実施します。				
指標	催事等を通じて積極的な連携を図る				
現状	実施中	目標	継続実施		

No.	12	事業名称	職場体験学習の受入れ		
担当課	文化財保存活用課（戸定歴史館）	予算事業	戸定歴史館管理運営事業		
事業内容	子どもたちが歴史に親しむとともに、市内の文化財への関心を深めてもらうため、職場体験に協力します。				
指標	実施校数				
現状	平均2校	目標	平均4校		

I-1-4 「音楽のまち松戸」を推進します

No.	13	事業名称	松戸音楽フェスティバルの開催		
担当課	社会教育課	予算事業	社会教育推進事業		
事業内容	学校や市民による吹奏楽や合唱が全国で活躍するなど、その活動の成果を多くの市民に周知し、市内の音楽活動の更なる活性化を図ります。				
指標	松戸音楽フェスティバルの演奏者数・団体数※				
現状	1,100人、25団体	目標	1,800人、50団体		

I-2 市民の主体性を育みます

市民がそれぞれの興味・関心や課題意識に応じて主体的に学び、心豊かな生活を送るとともに、地域の担い手として学びの成果を生かすことができる体制を整備します。

I-2-1 豊かな教養を育む機会の充実を図ります

No.	14	事業名称	生涯学習講座の実施		
担当課	社会教育課		予算事業	学習機会提供事業	
事業内容	市民が地域の歴史文化、価値や魅力などを学びアイデンティティを育むとともに、学習を通じて自己の充実を図る多様な機会を提供します。				
指標	講座の延べ参加人数、講座の延べ開催数				
現状	3,302人、194回		目標	4,300人、250回	

No.	15	事業名称	学びの拠点の機能充実と整備（文化ホール）		
担当課	社会教育課		予算事業	文化ホール管理運営事業	
事業内容	市民の学習や多様な文化活動の発表の場である文化ホールの環境を整備し、活性化を図ります。				
指標	文化ホール来館者数				
現状	16,637人		目標	40,000人	

I-2-2 青少年に多様な体験や交流、学びの機会の充実を図ります

No.	16	事業名称	青少年の自立を育む講座や体験・交流活動の充実		
担当課	社会教育課		予算事業	青少年会館学習機会提供事業	
事業内容	青少年の学びと自立を育むため、学校や家庭以外の自主的な活動や体験の機会を提供するとともに、異年齢や世代間の交流を図る機会を提供します。				
指標	青少年会館講座への参加者数				
現状	1,552人		目標	2,400人	

No.	17	事業名称	学びの拠点の機能充実と整備（青少年会館・分館）		
担当課	社会教育課		予算事業	青少年会館管理運営事業	
事業内容	放課後や夜間、土日と学校の長期休業中など青少年が個人の学習等に利用できる日や場所を拡大し、青少年施設としての充実を図ります。				
指標	青少年会館の利用者数*				
現状	48,100人		目標	82,000人	

I-2-3 家庭教育力の向上を支援します

No.	18	事業名称	地域や家庭の教育力を育む家庭教育事業の充実		
担当課	社会教育課		予算事業	家庭教育力向上事業	
事業内容	家庭で子どもたちのより良い成長が支えられるように家庭教育事業を推進することで、発達段階に応じた子どもの成長についての学びや、保護者同士の交流によるふれあいや子育ての思いの共有など自主的な学びを支援します。				
指標	家庭教育力向上事業の参加者数※				
現状	9,000人		目標	10,000人	

I-2-4 市民の文化・芸術活動や自主的な学びの充実を図ります

No.	19	事業名称	市民による文化芸術活動の充実		
担当課	社会教育課		予算事業	市民文化活動支援事業 文化ホール管理運営事業	
事業内容	松戸市文化祭、美術展、書道展等、市民活動の発表の場及び交流の場を提供することで、市民文化活動を支援します。				
指標	公民館等の利用者数（公民館・文化ホール・タウンスクール等の利用者数）※				
現状	70,000人		目標	70,000人	

No.	20	事業名称	社会教育団体と市民の学びをつなげる情報システムの活用		
担当課	社会教育課		予算事業	社会教育推進事業	
事業内容	生涯学習活動情報提供システムのリニューアルに伴う現行利用者へのフォローやユーザビリティの向上等により、自主的な情報発信を促進し、団体活動の充実を支援します。				
指標	まつどまなびいネット（生涯学習活動情報提供システム）アクセス数				
現状	25,074件		目標	50,000件	

No.	21	事業名称	多様な舞台芸術や文化芸術に触れる機会の充実		
担当課	社会教育課		予算事業	文化振興財団運営費補助金	
事業内容	松戸市の市民文化の創造に寄与することを目的に設立された公益財団法人松戸市文化振興財団に対して運営費を補助し、多くの舞台芸術鑑賞の機会を提供します。				
指標	松戸市文化振興財団の主催事業数、来場者数				
現状	9件、3,933人		目標	10件、9,000人	

I-2-5 宇宙や科学の楽しさを知る機会の充実を図ります

No.	22	事業名称	プラネタリウムを活用した学習体験の提供		
担当課	社会教育課（施設担当室）		予算事業	市民会館管理運営事業	
事業内容	プラネタリウムに対する興味・関心を持ち、楽しさを知る機会の充実を図るため、季節のイベント等に応じた特別投影や天文教室を開催するとともに、市内小学校の理科教育の一助として、団体投影を実施し、宇宙や科学に関心を持つ機会を提供します。				
指標	プラネタリウム室の来場者数*、プラネタリウム室の利用学校数*				
現状	8,118人、6校（令和2年度）		目標	14,000人、45校	

視点Ⅱ 学ぶ環境・システム「どこで学ぶ」

Ⅱ－１ 学びたいときに学べる環境をつくります

市民にとって学びやすい環境を整備し、学びたいときに学ぶことができる環境を整備します。

Ⅱ－１－１ 図書館機能を向上させ、文化・社会教育施設と連携した学びやすい環境づくりを進めます

No.	23	事業名称	図書館整備計画の推進		
担当課	図書館		予算事業	図書館整備計画推進事業	
事業内容	地域の情報拠点や交流拠点としての図書館整備を計画的に進め、多様化する課題解決支援機能や50万都市に見合った情報拠点機能を実現します。				
指標	図書館の人口一人当たり蔵書冊数※				
現状	1.3冊		目標	2.4冊	

No.	24	事業名称	図書館における情報化の推進		
担当課	図書館		予算事業	図書館管理運営事業	
事業内容	ＩＣタグを導入し、自動貸出機設置による貸出しのセルフ化や非接触化を推進します。				
指標	図書館全館の蔵書にＩＣタグを装備する				
現状	1か所		目標	20か所	

No.	25	事業名称	幼児・児童の読書活動の推進		
担当課	図書館		予算事業	幼児・児童の読書普及事業	
事業内容	こどもの読書普及活動を行うボランティアを育成するための講座を開催し、地域におけるこどもの読書活動の推進を図ります。				
指標	令和4年度は「松戸市こどもの読書活動推進計画」計画期間の中間年度となることから次期計画策定に向けて進捗管理を行う				
現状	実施中		目標	継続実施	

No.	26	事業名称	資料の利活用における関係機関との連携		
担当課	図書館		予算事業	図書館管理運営事業	
事業内容	市民が郷土に関する情報を活用できるよう、郷土資料を保存する各施設と連携・協定し、市民の学びを支援します。				
指標	博物館の所蔵資料を図書館システムに登録し、資料検索サービスで市民に提供する				
現状	実施中		目標	継続実施	

Ⅱ－１－２ 松戸駅周辺の文化拠点整備を推進します

No.	27	事業名称	文化拠点の整備	
担当課	社会教育課		予算事業	社会教育推進事業
事業内容	「松戸駅周辺まちづくり基本計画」を踏まえ、図書館機能を中核とした市民の学びを支援する文化拠点の整備を推進します。			
指標	文化拠点整備の進捗※			
現状	整備スケジュールの検討		目標	文化拠点整備に向けて計画的な進捗を図る

Ⅱ－１－３ 「21世紀の森と広場」周辺の文化施設の交流を推進します

No.	28	事業名称	千駄堀地区3館連携文化交流事業の推進	
担当課	文化財保存活用課（博物館）		予算事業	博物館学習支援事業
事業内容	3館（21世紀の森と広場、森のホール21、博物館）連携事業として継続性のある取組を行い、多くの利用者が訪れる文化交流拠点を目指していきます。			
指標	博物館の利用者数※			
現状	65,885人		目標	90,000人

Ⅱ－１－４ 文化・社会教育施設とスポーツ施設の老朽化対応及び再整備を進めます

※スポーツ施設については、「松戸市スポーツ推進計画」で別途、定めています。

No.	29	事業名称	文化施設の環境整備	
担当課	社会教育課（施設担当室）		予算事業	文化会館管理運営事業 市民劇場管理運営事業
事業内容	文化会館等の老朽化した施設について、安全な施設運営のために計画的な修繕を行うとともに、中長期的な大規模修繕計画の策定を目指します。			
指標	計画修繕の実施率			
現状	100%		目標	100%

Ⅱ－２ 子どもたちのためのよりよい教育システムを構築します

子どもたち一人ひとりが個性や特性に応じた教育を受けることができるような、教育システムの構築を目指します。

Ⅱ－２－４ 文化・社会教育と学校教育の連携を推進します

No.	30	事業名称	社会教育と学校の連携事業の推進（学習支援専門員の登用）		
担当課	文化財保存活用課（戸定歴史館）	予算事業	戸定歴史館管理運営事業		
事業内容	子どもたちが歴史文化に対する理解を深めるため、学習支援専門員による出前授業や校外学習を実施します。またオンライン等を活用するなど、子どもたちの興味を促す工夫をします。				
指標	校外学習・出前授業の実績数*				
現状	10校		目標	30校	

No.	31	事業名称	博学連携プログラムの推進		
担当課	文化財保存活用課（博物館）	予算事業	博物館学習支援事業		
事業内容	博物館学芸員や学習支援専門員の専門性をいかして、博物館と学校が連携・協力し、博物館アワードの開催や、教育活動の推進を図ります。				
指標	来館する学校数（小中学校、高校、大学）、博物館アワードへの応募件数				
現状	28校、454件		目標	260校、600件	

No.	32	事業名称	図書館と学校図書館の連携		
担当課	図書館	予算事業	幼児・児童の読書普及事業		
事業内容	限られた学校図書館の資料では補うことが難しい情報・資料を、学校からの相談を受け提供することにより、子どもたちの読書活動や主体的な学習活動の支援を図ります。また、公共図書館と学校図書館の連携に関する研修会を実施します。				
指標	学校貸出実施校数				
現状	36校		目標	65校	

視点Ⅲ 学びの支援「どのように支える」

Ⅲ－１ 多様な主体の連携・協働で学びを支えます

市内の多様な主体がつながり、連携・協働することで、子どもたちの学びと成長を支えます。

Ⅲ－１－１ 学校・家庭・地域の連携や多様な人材の幅広い活躍により地域の教育力を向上させます

No.	33	事業名称	子どもたちの学びと成長を支える学校・家庭・地域の連携・協働体制の構築		
担当課	教育政策研究課		予算事業	学校を核にした地域コミュニティづくり事業	
事業内容	地域性を活かして、学校・家庭・地域の連携・協働を進めます。				
指標	市内小中学校ボランティア受け入れ学校の割合※				
現状	84.6%		目標	100%	

Ⅲ－１－２ 教育と福祉・医療の連携を推進します

No.	34	事業名称	青少年の自立を支える団体との連携		
担当課	社会教育課		予算事業	青少年活動支援事業	
事業内容	青少年会館の一部を活用し、小中高生を対象にした生活自立支援、学習支援、体験支援等のための居場所事業を推進します。				
指標	居場所事業の開催日数				
現状	月4日（令和4年度開始）		目標	月8日	

No.	35	事業名称	（仮称）生涯学習人材バンクの開設		
担当課	社会教育課		予算事業	社会教育推進事業	
事業内容	社会教育団体や個人など学びの成果を活かしたい市民を、社会教育施設や学校ボランティア等にマッチングする仕組みをつくります。				
指標	学びの成果を活用したい市民と学校、社会教育施設などのボランティア制度とのマッチングの仕組みを作る				
現状	検討中		目標	実施	

Ⅲ-2 学びたい市民の自主的な学びを支えます

市民の誰もが学びたいと思ったときに必要な情報を得ることができ、学びのきっかけや深い学びにつなげることができるよう、学びの支援体制を整備します。

Ⅲ-2-1 ICTを活用した学びの支援の充実を図ります

No.	36	事業名称	市民と「学び」をつなぐ広報活動（情報発信）の推進		
担当課	教育政策研究課		予算事業	事務局運営事業	
事業内容	各課のノウハウ・実践の共有や施策に関する広報の連携を図るとともに、市長部局と連携しながら、教育委員会全体の広報活動（情報発信）を推進します。				
指標	令和12年度までに、各課における教育広報担当者が機能し、教育委員会全体の広報活動を円滑に行う				
現状	—（新規事業）		目標	教育委員会内で広報活動の重要性を共有	

No.	37	事業名称	ICTを活用した学習機会の充実		
担当課	社会教育課		予算事業	学習機会提供事業 青少年会館学習機会提供事業	
事業内容	講座やワークショップで配信を併用するなど、ICTを活用した学習機会を拡充します。				
指標	ICTを活用した講座等の動画視聴回数				
現状	年間346回		目標	年間500回	

No.	38	事業名称	ICTを活用した学習機会の充実		
担当課	文化財保存活用課 （博物館・戸定歴史館）		予算事業	博物館歴史資産収集調査事業 戸定歴史館管理運営事業	
事業内容	こども向けに作成したまつどの歴史紹介ページや、デジタルマップの活用により、新たな生活様式の下でも、まつどデジタルミュージアムを活用した松戸市所蔵資料の鑑賞など学習の機会を提供します。				
指標	まつどデジタルミュージアムの閲覧数（アクセス数）				
現状	50,068件 （令和4年4月～10月実績）		目標	年間100,000件	

No.	20	事業名称	（再掲）社会教育団体と市民の学びをつなげる情報システムの活用		
担当課	社会教育課		予算事業	社会教育推進事業	
事業内容	生涯学習活動情報提供システムのリニューアルに伴う現行利用者へのフォローやユーザビリティの向上等により、自主的な情報発信を促進し、団体活動の充実を支援します。				
指標	まつどまなびいネット（生涯学習活動情報提供システム）の閲覧数（アクセス数）				
現状	25,074件		目標	50,000件	

No.	39	事業名称	図書館における情報化の推進		
担当課	図書館		予算事業	図書館管理運営事業	
事業内容	インターネットを利用した、資料検索、予約、利用状況の照会等サービスの提供や情報発信を行い、市民が情報にアクセスできる機会の充実に努めます。				
指標	オンラインデータベース提供場所の拡大				
現状	2か所		目標	3か所	

Ⅲ－２－２ 市民のための学習相談体制の充実を図ります

No.	40	事業名称	レファレンスサービスの充実		
担当課	図書館		予算事業	図書館管理運営事業	
事業内容	市民の抱える課題の解決に資するため、多様な情報の提供を図るとともに、市民の情報の調べ方や情報活用能力の促進に努めます。				
指標	レファレンスサービス提供場所の拡大				
現状	2か所		目標	3か所	

No.	41	事業名称	市民の学びを支援するための体制の充実		
担当課	図書館		予算事業	図書館管理運営事業	
事業内容	市民の高度で多様化するニーズに応えるため、司書資格の新規取得やスキルアップ研修の受講など職員の資質向上及び維持を図ります。				
指標	図書館職員における司書資格保有者の割合※				
現状	59.3%		目標	60%	

Ⅲ－２－３ 学び直しへのチャレンジを支援します

No.	42	事業名称	基礎学力相当の教科を学び直す講座の実施		
担当課	社会教育課		予算事業	社会教育推進事業	
事業内容	学習のきっかけづくりとして講座を開催し、学び直しの機会を提供します。				
指標	「やさしい教養講座」の開催数				
現状	161回		目標	200回	

2 重点目標

本計画の基本理念の実現を図るために、重点的に取り組んでいく事業を重点目標として設定しました。

視点Ⅰ 学ぶ内容・機会「何を学ぶ」における重点目標

重点目標① 市の歴史文化や文化財についての学びを通じて、地域の価値や魅力を知り、継承できるようにします。

No.	事業名称	担当課
3	松戸市文化財保存活用地域計画の推進	文化財保存活用課

重点目標② 歴史や文化芸術に関心を持ち、学びのきっかけになる多様な機会を提供します。

No.	事業名称	担当課
6・8・10	美術展覧会の開催 企画展、館蔵資料展等の開催 企画展等の開催	文化財保存活用課 (博物館・戸定歴史館含む)
38	I C Tを活用した学習機会の充実	文化財保存活用課 (戸定歴史館・博物館)

重点目標③ 市民の主体性を育む学びの機会の充実を図ります。

No.	事業名称	担当課
14	生涯学習講座の実施	社会教育課
16	青少年の自立を育む講座や体験・交流活動の充実	
18	地域や家庭の教育力を育む家庭教育事業の充実	

視点Ⅱ 学ぶ環境・システム「どこで学ぶ」における重点目標

重点目標④ 文化や学びの拠点として、図書館をはじめとする社会教育施設の計画的な整備や改修を図ります。

No.	事業名称	担当課
23	図書館整備計画の推進	図書館
27	文化拠点の整備	社会教育課
29	文化施設の環境整備	社会教育課

重点目標⑤ 縄文からの松戸の歴史文化を伝え、学ぶ拠点として、博物館等の施設の計画的な改修を図ります。

No.	事業名称	担当課
7	松戸市立博物館リニューアル基本構想・基本計画の推進	文化財保存活用課（博物館）
9	戸定邸保存活用計画の策定	文化財保存活用課 （戸定歴史館）

視点Ⅲ 学びの支援「どのように支える」における重点目標

重点目標⑥ 学びの拠点の機能充実を図ります。

No.	事業名称	担当課
15・17	学びの拠点の機能充実と整備（文化ホール・青少年会館・分館）	社会教育課

重点目標⑦ 社会教育を基盤とした人づくり・つながりづくりを推進します。

No.	事業名称	担当課
20	社会教育団体と市民の学びをつなげる情報システムの活用	社会教育課

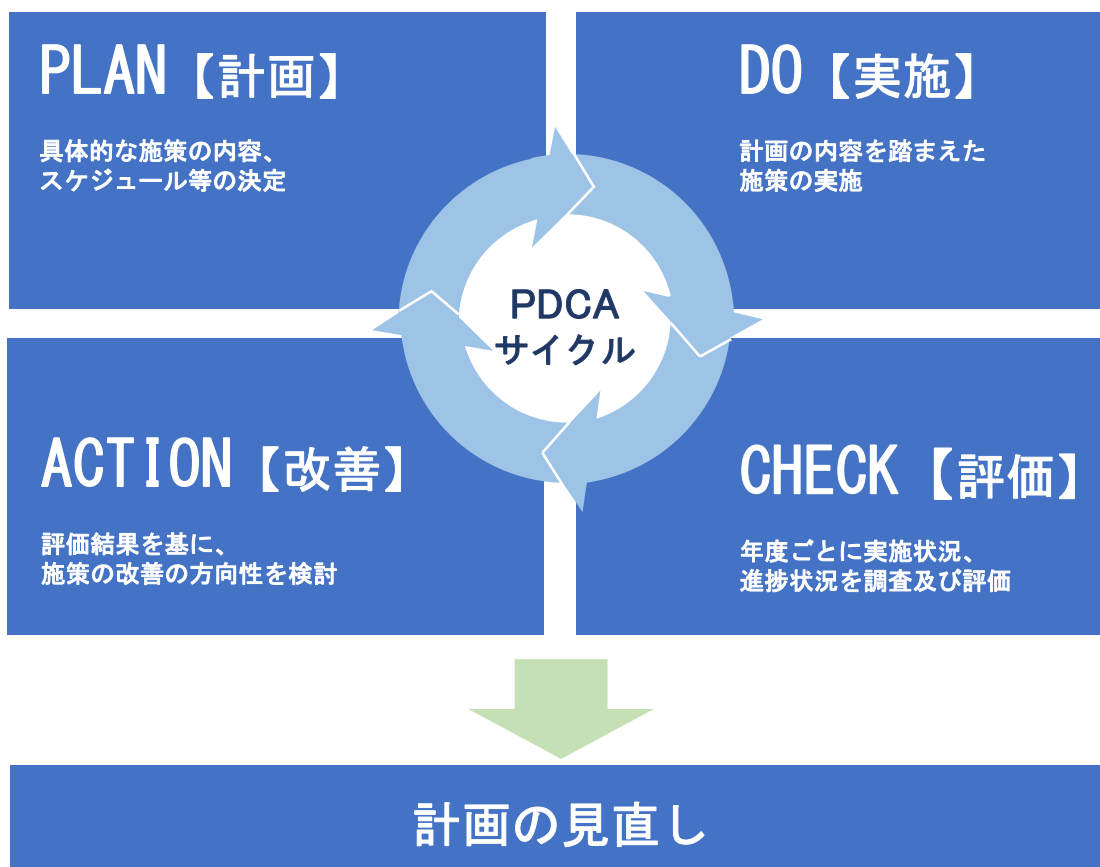
第5章 計画の推進に向けて

1 計画の推進体制

本計画に記載された各種取組は、教育委員会の社会教育関係部署が中心となり、関係部署・関係機関とも連携を強化して推進します。また、市民を対象に本計画についての理解促進を図り、行政と市民との協働のもとで、効率的に推進します。

2 計画の進行管理

本計画に基づく施策の実施に際しては、毎年の進捗状況の把握に努めるとともに、PDCAサイクルによる継続的改善の考え方を基本として、推進していきます。



社会教育に関する提言書

新しい時代の社会教育のあり方について（提言）

松戸市社会教育委員

はじめに

松戸市教育委員会では、令和元年度より第二次社会教育計画策定に向けて準備を進めてきた。しかし、令和2年2月27日、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、政府は全国の小中高等学校に対して臨時の一斉休校を要請し、また、4月7日に緊急事態宣言を7都道府県、ついで16日、全国に発令した。このような中、全国の社会教育施設等で通常行われている業務、学習活動も同様にほぼ停止せざるを得なかった。

社会教育行政は、今回の経験から教訓を導き出しておく必要がある。なぜなら、社会教育の原点は「社会教育集団をどうつくるのか」というところにある。他者に対面し、課題や悩み、考えを共有することを通じて、人々の学習を推進することに価値があり、人と人がつどい、現実の場面につながることが重要と考えられてきたからである。しかし、このコロナ禍ではそれを否定されざるを得なかった。

今、社会教育に何ができるのか、何か知恵を絞ればできることがあるのではないか。このような時にこそ、市民と行政が一体になって松戸市の社会教育から先進的な取り組みに挑戦してみてもどうか。従来から考えるのではなく、さらに一歩進めた取り組みを松戸市から発信する意気込みで社会教育を推進していくため、我々松戸市社会教育委員は、社会教育法第17条に基づき第二次社会教育計画に盛り込む事項について提言を行うこととした。

令和4年1月12日

第36期松戸市社会教育委員
委員長 福留 強

1. 新型コロナウイルス感染症の発生とその影響

(1) 新型コロナウイルス感染症への不安に駆られる中で、市民が過剰に互いを監視し合う現象や、感染者への誹謗中傷や差別的扱いも見られていた。さらに国外においては差別的扱いを受けたアジア系住民のニュースが幾度も報道されていた。日本においては、感染した人や医療従事者を誹謗中傷や差別から守るため令和2年4月、東京都を端緒として、差別禁止を盛り込んだ条例を制定する動きも見られた。

(2) ICT技術の活用により、オンライン会議やオンライン研修会、対面とオンラインの併用による会議等も見られるようになり、社会的距離を保ちながら遠隔地との距離をうめる取り組みが展開されている。一方で、市民の情報格差や情報リテラシー教育の不足により様々な問題が浮上してきている。

(3) 内閣府が令和2年6月に公表した「新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」では、感染拡大前と比べて、「家族」や「社会とのつながり」の重要性に関する意識について、より重要性を意識するようになったと回答している。また、生活満足度が全体的に低下しており、特に、「社会とのつながり」及び「生活の楽しさ・おもしろさ」の満足度についての低下幅が大きい調査結果となっている。新型コロナウイルス感染症による様々な制約が人々の意識や生活満足度にも影響を与えていることが示される結果となった。本市においても、緊急事態宣言の拡大に伴い、社会教育施設を閉館せざるを得なくなり、各種生涯学習関連事業が中止や延期となったことで、社会教育分野においても市民サービスの低下が顕著となった。

2. 新型コロナウイルス感染症拡大の影響から気づかされた社会教育の課題

(1) 人権教育の重要性

- ・多文化共生意識の醸成
- ・グローバル化する社会への対応

(2) ICTを活用した社会教育事業の展開

- ・様々なICTを活用した事業の実現
- ・技術的指導（習熟度別）ICT教育の推進
- ・情報リテラシー教育の推進
- ・情報格差の解消

(3) つながり方の多様性と特性の理解

- ・「ICT」と「対面」の効果的な組み合わせ
- ・「社会とのつながり」「生活の楽しさ、面白さ」の実感
- ・多種多様な学びの機会の提供

3. 計画に盛り込むべき視点として

(1) どんな状況になっても社会教育の学びを止めない環境の構築

- ・ICT環境の整備とICT技術を活用した学びの実施
- ・組織的な学びだけでなく個人の学びも支援するという発想転換

(2) 楽しさ、おもしろさ等の視点をもった学びや活動へのきっかけづくり

- ・地域社会に貢献したい、もっと地域や人とつながりたいという思いに応えるしくみづくり

(3) 青少年期から続く地域との関わりの習慣化

- ・地域の取り組みなどへの参加や青少年団体への積極的な関わり
- ・青少年を対象にした「学びと対話のフリースペースの充実」

- (4) 地域住民にとって大事なものを取り上げた学習と対話による学び
- ・多文化共生とグローバル化
 - ・防災などの命を守る教育

【4つの学びの提言】

【1】学びの継続（学習権の保証）

どんな時も学びを止めない、学び続けることができるICTを活用した学習機会など次世代の学び方の検討

【2】学び返し支援体制の強化（活動支援）

学びを地域活動に繋げる仕組みづくり
学びを生かす活動機会と情報提供、相談の充実

【3】学び直しの機会提供（事業展開）

人権教育やリカレント教育など学び直しによる意識の変革やキャリアチェンジに繋がる、気づきの社会教育事業の展開
多文化共生社会やSDGsを意識した多種多様な学びの入口の提供

【4】学びの拠点、機能の充実（人材育成）

各施設が学びの拠点としての機能を発揮するためのスペシャリスト（学芸員、司書、社会教育主事等）の育成と配置の強化

コロナ禍において、社会教育のみならず、学校をはじめとする教育現場全体で、これまで培ってきた教育手法が感染拡大防止策によって大きく制限され事業のあり方そのものが転換を迫られている。

しかし、社会教育が人を育て、つながりをつくり、地域を活性化していくために必要とされる行政分野であることに変わりはない。今、社会教育の役割を再認識し、人材育成や地域づくりに貢献していくためには、このコロナ禍をチャンスと捉え、事業のICT化、デジタル化を進める機会にしていくことも考えたい。コロナ長期化の状況下でも、人々が学び合える方法、集い合える方法、話し合える方法を模索し、拓いていくことが教育行政全般に求められている。

終わりに

社会教育委員会議は、第二次社会教育計画策定に向け、人と人、地域と地域などのつながりに着目しながら社会教育のあり方について検討を進めてきた。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、本計画の協議も中断せざるを得なくなり、コロナウイルスが「つながりづくり」に大きな影響を与えたのではないかとの推測

に立って、コロナウイルス感染症を踏まえた追加の検討を行った。そのため、計画策定作業は多くの課題を抱えて進められたが、ようやく計画策定前に提言をまとめることができた。コロナ禍に限らず社会の環境は常に変化しているが、その流れに沿って社会教育のあり方を研究し、さらなる取り組みを進める努力が望まれている。

加えて、我々社会教育委員の一人ひとりが社会教育活動等に積極的に関わり、環境の変化や地域の状況を的確に把握し検討したことを教育委員会に提言していくことが大切であると考えている。

次期計画策定にあたっては、本提言を踏まえ更なる議論を尽くされることを我々は望んでいる。

第36期 松戸市社会教育委員

委員長	福留 強
副委員長	森 めぐみ
委員	齋藤 信
委員	安達 里季
委員	小熊 浩典
委員	浅岡 裕子
委員	奈賀 綾子
委員	米原 立将
委員	神谷 明宏
委員	三島 孔明

計画策定の体制

(1) 松戸市社会教育委員名簿

①第35期松戸市社会教育委員

(任期：平成30年6月1日～令和2年5月31日)

区分	氏名	役職	備考
学校教育関係者	齋藤 信	貝の花小学校校長	
社会教育関係者	竹中 良子	元社会教育指導員	
	小熊 浩典	だいすき松戸！子どもフェスティバル実行委員会事務局長	
家庭教育の向上に資する活動を行う者	山口 恵理子	北部幼稚園副園長	
	山崎 敏子	元松戸市PTA連絡協議会副会長	副委員長
	森 めぐみ	人権擁護委員	
学識経験のある者	福留 強	一般社団法人学びとまちづくり推進機構代表	委員長
	大橋 純一	流通経済大学教授	
	神谷 明宏	聖徳大学准教授	
	三島 孔明	千葉大学大学院准教授	

②第36期松戸市社会教育委員

(令和2年6月1日～令和4年5月31日)

区分	氏名	役職	備考
学校教育関係者	齋藤 信	栗ヶ沢小学校校長	
社会教育関係者	安達 里季	小金ほのぼの食堂の会代表	
	小熊 浩典	だいすき松戸！子どもフェスティバル実行委員会事務局長	
家庭教育の向上に資する活動を行う者	浅岡 裕子	元千葉県子どもと親のサポートセンター指導主事	
	奈賀 綾子	元松戸市PTA連絡協議会会長	
	森 めぐみ	人権擁護委員	副委員長
学識経験のある者	福留 強	社団法人全国元気まち研究会理事長	委員長
	米原 立将	流通経済大学准教授	
	神谷 明宏	聖徳大学准教授	
	三島 孔明	千葉大学大学院准教授	

③第37期松戸市社会教育委員

(令和4年6月1日～令和6年5月31日)

区分	氏名	役職	備考
学校教育関係者	齋藤 信	栗ヶ沢小学校校長	
社会教育関係者	安達 里季	小金ほのぼの食堂の会代表	
	阿部 剛	特定非営利活動法人 まつどNPO協議会 理事	
	千石 秀幸	公益財団法人 松戸市国際交流協会 常務理事	
家庭教育の向上に資する活動を行う者	坂 栄一	松戸市子ども会育成会連絡協議会 会長	
	奈賀 綾子	元松戸市PTA連絡協議会 会長	副委員長
学識経験のある者	長江 曜子	聖徳大学生涯学習研究所所長	委員長
	米原 立将	流通経済大学准教授	
	大成 哲雄	聖徳大学教授	
	小林 達明	千葉大学図書館松戸分館長	

(2) 第二次松戸市社会教育計画策定検討会構成員名簿

①平成31年度第二次松戸市社会教育計画策定検討会構成員名簿

(任期：平成31年4月1日～令和2年3月31日)

役職	所属	職制	氏名	
会長	生涯学習部	部長	片田 雅文	
副会長	社会教育課	課長	井之浦 太郎	
構成員	生涯学習部	審議監	津川 正治	
	教育企画課	審議監兼課長	菊地 治秀	
	生涯学習推進課	課長	橋本 貢一	
	青少年会館	館長	若林 佐恵子	
	市民会館	参事監兼館長	向後 文大	
	図書館	館長	臼井 眞美	
	戸定歴史館	館長	後藤 泰之	
事務局	社会教育課	博物館	次長	堤 和子
			課長補佐	藤谷 美伸
			主幹	齊藤 真一
		主任主事	池田 沙央理	

②令和2年度第二次松戸市社会教育計画策定検討会構成員名簿

(任期：令和2年4月1日～令和3年3月31日)

役職	所属	職制	氏名
会長	生涯学習部	部長	片田 雅文
副会長	社会教育課	課長	瀬谷 眞一
構成員	生涯学習部	参事監	米澤 和宏
	教育企画課	審議監兼課長	菊地 治秀
	生涯学習推進課	課長	藤谷 隆
	市民会館	館長	関川 恵美子
	図書館	館長	村上 陽子
	戸定歴史館	館長	後藤 泰之
	博物館	参事監兼次長	堤 和子

③令和3年度第二次松戸市社会教育計画策定検討会構成員名簿

(任期：令和3年4月1日～令和4年3月31日)

役職	所属	職制	氏名
会長	生涯学習部	部長	渡部 優樹
副会長	社会教育課	課長	臼井 眞美
構成員	教育企画課	課長	川野 康仁
	生涯学習推進課	参事監兼課長	藤谷 隆
	市民会館	館長	関川 恵美子
	図書館	館長	村上 陽子
	戸定歴史館	館長	藤田 和子
	博物館	次長	小山 智之

④令和4年度第二次松戸市社会教育計画策定検討会構成員名簿

(任期：令和4年4月1日～令和5年3月31日)

役職	所属	職制	氏名
会長	生涯学習部	部長	藤谷 隆
副会長	社会教育課	課長	臼井 眞美
構成員	教育総務課	審議監兼課長	三根 秀洋
	教育政策研究課	参事監兼課長	秋田 敦子
	社会教育課施設担当室	室長	飯沼 修
	スポーツ課	課長	塩路 猛
	図書館	館長	大竹 英貴
	文化財保存活用課	課長	関根 嗣人
	戸定歴史館	館長	阿部 寛之
	博物館	次長	染野 寿郎

(3) 第二次松戸市社会教育計画策定ワーキングチーム構成員名簿

①令和元年度第二次松戸市社会教育計画策定ワーキングチーム構成員名簿

(任期：平成31年4月1日～令和2年3月31日)

役職	所属	職制	氏名
座長	社会教育課	課長補佐	藤谷 美伸
構成員	社会教育課	主事	松木 貴裕
	教育企画課	主任主事	島村 仁美
	生涯学習推進課	主査	鈴木 秀明
	青少年会館	主幹	松本 優子
	市民会館	主査	湯浅 晃伸
	図書館	主事	長田 朋哉
	戸定歴史館	主任主事	小川 滋子
	博物館	主事	武井 駿
事務局	社会教育課	主幹	齊藤 真一
		主任主事	池田 沙央理

②令和2年度第二次松戸市社会教育計画策定ワーキングチーム構成員名簿

(任期：令和2年4月1日～令和3年3月31日)

役職	所属	職制	氏名
座長	社会教育課	課長補佐	齊藤 真一
構成員	社会教育課	主任主事	杉本 正紀
	教育企画課	主任主事	島村 仁美
	生涯学習推進課	主任主事	輿石 憲
	青少年会館	主幹	松本 優子
	市民会館	主査	中村 剛
	図書館	主事	長田 朋哉
	戸定歴史館	主任主事	小川 滋子
	博物館	主任主事	武井 駿
事務局	社会教育課	主査	江畑 典和
		主任主事	池田 沙央理

③令和3年度第二次松戸市社会教育計画策定ワーキングチーム構成員名簿

(任期：令和3年12月20日～令和4年3月31日)

役職	所属	職制	氏名
座長	社会教育課	課長補佐	齊藤 真一
構成員	社会教育課	主任主事	杉本 正紀
	教育企画課	主任主事	染谷 康太
	生涯学習推進課	主事	佐野 友華里
	市民会館	主査	大谷 仁宏
	図書館	主任主事	左海 菜々子
	戸定歴史館	主任主事	小川 滋子
事務局	社会教育課	主任主事	武井 駿
事務局	社会教育課	主任主事	岩間 拓郎

④令和4年度第二次松戸市社会教育計画策定ワーキングチーム構成員名簿

(任期：令和4年7月5日～令和5年3月31日)

役職	所属	職制	氏名
座長	社会教育課	課長補佐	青木 史
構成員	社会教育課	主任主事	杉本 正紀
	社会教育課 施設担当室	主事	川井 久志
	教育総務課	主幹	小河 孝紀
	教育政策研究課	指導主事	岡本 小枝
	スポーツ課	主任主事	齋藤 康平
	図書館	主任主事	里見 義貴
	文化財保存活用課	主幹	橋本 欣之
	戸定歴史館	主査	小川 滋子
	博物館	主事	齋藤 美伽
事務局	社会教育課	主査	野上 稔

策定経過

【平成31年度／令和元年度】

区分	日程	主な内容
第1回第二次松戸市社会教育計画策定検討会	平成31年4月16日	第二次松戸市社会教育計画の策定について 1 策定の経緯 2 現状と課題 3 現松戸市社会教育計画 施策の体系 4 第二次松戸市社会教育計画策定の方向性 5 第二次松戸市社会教育計画策定体制 6 第二次松戸市社会教育計画策定スケジュール
第1回第二次松戸市社会教育計画策定のためのワーキング会議	令和元年5月10日	1 社会教育課長挨拶 2 本日の会議の目的 3 自己紹介（アイスブレイク） 4 第二次松戸市社会教育計画の策定について 5 アンケート調査票について 6 事務連絡
第2回第二次松戸市社会教育計画策定のためのワーキング会議	令和元年5月30日	1 本日の会議の目的 2 アイスブレイク 3 アンケート調査内容について（ワークショップ） 4 事務連絡
第3回第二次松戸市社会教育計画策定のためのワーキング会議	令和元年6月19日	1 本日の会議の目的 2 アイスブレイク 3 アンケート調査項目等について（ワークショップ） 4 事務連絡
社会教育に関するアンケート調査	令和元年9月17日から10月4日	・市民意識調査 ・団体アンケート調査
第4回第二次松戸市社会教育計画策定のためのワーキング会議	令和元年11月22日	1 本日の会議の目的 2 アンケート集計結果報告について（説明） 3 アンケート集計結果分析について（説明、質疑応答） 4 事務連絡
第5回第二次松戸市社会教育計画策定のためのワーキング会議	令和2年1月17日	1 本日の会議の目的 2 アンケート集計結果分析について 3 第二次松戸市社会教育計画骨子（案）について 4 事務連絡

【令和2年度】

区分	日程	主な内容
第1回第二次松戸市社会教育計画策定検討会	令和2年7月21日	第二次松戸市社会教育計画の策定について 1 前年度までの経過 2 今年度から来年度にかけての予定
第2回第二次松戸市社会教育計画策定検討会	令和2年11月17日	第二次松戸市社会教育計画策定に係る計画体系の見直しについて 1 本日の会議の目的 2 どのように見直すのか 3 なぜ見直すのか 4 見直しスケジュール 5 直近の予定

【令和3年度】

区分	日程	主な内容
第1回第二次松戸市社会教育計画策定検討会	令和3年10月19日	第二次松戸市社会教育計画の策定について 1 策定経過の説明 2 今後の策定スケジュール 3 計画策定シンポジウムの開催について 4 ワーキングメンバーの選任等について
第2回第二次松戸市社会教育計画策定検討会	令和3年12月10日 (書面開催)	1 計画体系の見直しについて(報告) 2 シンポジウムの開催について(報告)
第1回第二次松戸市社会教育計画策定のためのワーキング会議	令和3年12月23日	1 第二次松戸市社会教育計画の策定について 2 社会教育計画策定シンポジウムの開催について
社会教育計画策定シンポジウム	令和4年1月22日	・社会教育委員からの提言 ・基調講演 ・パネルディスカッション
第3回第二次松戸市社会教育計画策定検討会	令和4年3月23日 (書面開催)	1 第二次松戸市社会教育計画(素案)の作成経過(報告)
第2回第二次松戸市社会教育計画策定のためのワーキング会議	令和4年3月23日 (書面開催)	1 第二次松戸市社会教育計画(素案)の作成経過(報告)

【令和4年度】

区分	日程	主な内容
第1回第二次松戸市社会教育計画策定検討会	令和4年6月24日	第二次松戸市社会教育計画の策定について 1 策定経過の説明 2 今後の策定スケジュール 3 ワーキングメンバーの選任依頼について
第1回第二次松戸市社会教育計画策定のためのワーキング会議	令和4年8月2日	第二次松戸市社会教育計画の策定について 1 社会教育計画概要と第二次計画の策定経過について 2 今後の策定スケジュールについて 3 各課事業の現状分析について
第二次松戸市社会教育計画策定に係る資料作成について（ワーキングチーム）	令和4年9月8日 （資料作成依頼）	第二次松戸市社会教育計画の策定について 1 計画事業と目標設定について
第2回第二次松戸市社会教育計画策定検討会	令和4年10月13日	第二次松戸市社会教育計画の策定について 1 社会教育計画の素案について 2 計画事業と目標の確認について 3 重点目標の設定について
第二次松戸市社会教育計画策定に係るヒアリングについて（ワーキングチーム）	令和4年11月1日 （各課ヒアリング）	第二次松戸市社会教育計画の策定について 1 各計画事業と目標設定について
第3回第二次松戸市社会教育計画策定検討会	令和5年3月開催 予定	第二次松戸市社会教育計画の策定について（報告）

松戸市の社会教育に関するアンケート調査結果概要

(1) 実施概要

本計画の策定にあたって、以下の概要でアンケート調査を実施しました。

図表 アンケート調査の概要

調査種別	項目	内容
市民意識調査	調査対象	松戸市に居住する 18 歳以上の男女 3,000 人
	抽出方法	住民基本台帳による無作為抽出
	調査方法	郵送配布・郵送回収
	調査時期	令和元年 9 月 17 日から 10 月 4 日まで
	回収結果	有効回収数 1,235 票（返戻 18 件）、有効回収率 41.4%
団体アンケート調査	調査対象	松戸市内で活動する社会教育関係団体（490 団体）
	抽出方法	令和元年 8 月 20 日時点の登録団体
	調査方法	郵送配布・郵送回収
	調査時期	令和元年 9 月 17 日から 10 月 4 日まで
	回収結果	有効回収数 410 票（返戻 4 件）、有効回収率 84.4%

(2) 市民意識調査結果

1 「生涯学習活動」に対する考え方について

問1 この1年にどんな学習(生涯)をしたか											
調査数	趣味・教養に関すること	仕事に必要な知識に関すること(専門分野、経営など)	子育て・家庭教育・学校教育に関すること	生活での実用的な知識に関すること(料理、洋裁など)	健康に関すること(健康法、医療など)	社会的な問題に関すること(高齢化、環境問題など)	ボランティア活動、まちづくり、地域のコミュニティづくりに必要な知識、技能に関すること	国際理解、国際交流に関すること	していない	その他	無回答
1,235	39.8	27.0	11.9	14.1	23.5	8.7	8.7	3.7	32.6	1.6	2.3

問2 学習方法										
調査数	市が主催する講座や教室への参加	学校(大学や各種学校など)の公開講座や教室への参加	職場の研修・教室への参加	カルチャーセンターなどの民間施設で開催される講座や教室への参加	自宅での学習(通信教育、書籍、インターネットなど)	学校(大学や各種学校など)に入学	自主的なサークルやクラブに加入	図書館・博物館・美術館などで学習・鑑賞	その他	無回答
804	12.6	10.9	24.5	14.1	54.1	4.7	21.4	26.1	9.6	2.5

問3 目的										
調査数	健康維持・増進のため	人生を豊かにするため	自由時間を有効に活用するため	現在の仕事や将来の就職、転職に役立つため	日常生活に活用するため	地域社会をよりよくするため	人脈を広げるためや友人をつくるため	その他	無回答	
804	45.3	58.8	32.3	35.9	35.0	12.2	17.5	3.5	1.5	

問4 どんなことを学びたいか											
調査数	趣味・教養に関すること	仕事に必要な知識に関すること(専門分野、経営など)	子育て・家庭教育・学校教育に関すること	生活での実用的な知識に関すること(料理、洋裁など)	健康に関すること(健康法、医療など)	社会的な問題に関すること(高齢化、環境問題など)	ボランティア活動、まちづくり、地域のコミュニティづくりに必要な知識、技能に関すること	国際理解、国際交流に関すること	特になし	その他	無回答
1,235	55.7	29.2	16.8	27.9	47.0	23.2	19.4	11.5	10.8	1.8	1.4

問5 地域の学習環境を充実させるために必要なこと											
調査数	公民館・図書館・博物館・美術館・劇場などの社会教育施設の充実	家庭教育学級や生涯学習講座などの社会教育事業の充実	PTAやサークル活動等の社会教育関係団体の活動支援	公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実	地域の芸能や祭りなどの継承・保存	歴史的な建物や遺跡などを生かしたまちづくりの推進	子育て講座の充実	子どもが地域活動に参画する機会の充実	特に必要ななし	その他	無回答
1,235	59.8	25.1	7.1	29.2	26.4	23.4	13.5	31.0	7.7	5.2	2.8

問6 歴史・文化・伝統への理解をより深めるために、力を入れるべき取り組み										
調査数	小中学生が学校の内外で歴史・文化・伝統に触れる学習機会の充実	歴史・文化・伝統を継承するボランティア(市民ガイド等)の養成	歴史・文化・伝統に関する展覧会や企画展の充実	歴史・文化・伝統への理解を深める講座や体験の機会の充実	歴史・文化・伝統に関する情報収集・発信・調べ方案内	図書館・博物館等の施設でわかりやすい展示や多言語化	図書館・博物館等の施設への専門的職員配置	各館の所蔵資料情報に相互にアクセスできるようにするなど、相互機能の強化	その他	無回答
1,235	60.4	20.9	30.8	40.5	21.1	28.6	12.5	15.9	4.0	5.4

問7 関心のある地域課題															
調査数	子育て支援、子どもの健全育成に関すること	防災・防犯に関すること	孤独死や認知症に関すること	要介護・要支援高齢者の生活支援に関すること	環境保全やゴミ問題に関すること	住民同士の助け合いや地域交流に関すること	地域の伝統行事や祭りの継承に関すること	協働のまちづくりに関すること	障がい者の生活支援、共生に関すること	外国人住民との交流や相互理解に関すること	性的少数者への理解に関すること	地域活性化や経済振興に関すること	特になし	その他	無回答
1,235	39.0	59.8	37.4	41.9	33.4	31.7	17.7	8.7	18.8	15.5	6.7	24.9	4.3	2.6	2.0

2 「生涯学習活動」に関する情報、相談について

問8 情報源											
調査数	新聞、雑誌、テレビ、ラジオ	広報まつど	インターネット(SNSを含む)	家族や知人から	市役所や公民館などの公共施設での情報(ポスター、ちらし)	学校や職場での情報(ポスター、ちらし)	駅や路上、商業施設などでの情報(ポスター、ちらし)	特に得ていない	得る手段がわからない	その他	無回答
1,235	20.3	63.2	23.7	16.5	22.4	8.7	20.3	12.8	6.0	1.4	1.3

問9 知りたい情報												
調査数	公民館、図書館、市民センターなどの公共施設で開催される講座や教室情報	講演会や展覧会などのイベント情報	資格取得に関する情報	カルチャーセンターなどの民間施設で開催される講座や教室情報	同好者が自主的に行っているグループ・サークルの情報	大学などの教育機関で開催される講座の情報	公民館や市民センターなどの施設の空き状況などの情報	講師や指導者に関する情報	地域活動やボランティア活動に関する情報	特になし	その他	無回答
1,235	52.6	42.5	22.2	23.6	20.8	20.7	8.3	8.7	15.8	16.5	0.7	2.1

問10 市に相談したいと思うこと								
調査数	どのような学習方法が良いか教えてほしい	何かをやりたいが何が自身に合っているかわからない	一緒に学習する仲間がほしい	生涯学習に関する情報収集の方法がわからない	自身のスキルを使って誰かの役に立ちたい	相談したいことはない	その他	無回答
1,235	11.8	17.2	12.5	16.8	17.7	44.3	2.8	5.7

問11 学習を行うときに妨げになるものはあるか											
調査数	忙し時間の確保ができない	経済的負担	家庭や職場など周囲の理解が得られない	必要な情報が得られない	一緒に学習する仲間がいない	新しいことを始めるのが億劫である	身近な場所に学習できる施設がない	活動の妨げになっていることではない	わからない	その他	無回答
1,235	43.0	27.9	3.5	17.4	9.4	17.2	19.8	10.9	5.2	5.0	5.3

3 「生涯学習活動」の成果の活用について

問12 学習成果をどのようなことに生かしているか、学習成果をどう生かしたいか。ア. 仕事や家庭など、日常生活					
調査数	現在生かしている	今後生かしたい	わからない	特に生かしていない／特に生かすつもりはない	無回答
1,235	33.7	19.9	15.8	13.0	17.8

問12 学習成果をどのようなことに生かしているか、学習成果をどう生かしたいか。イ. 資格の取得・就職					
調査数	現在生かしている	今後生かしたい	わからない	特に生かしていない／特に生かすつもりはない	無回答
1,235	15.1	20.6	18.3	23.2	23.3

問12 学習成果をどのようなことに生かしているか、学習成果をどう生かしたいか。ウ. ボランティア活動					
調査数	現在生かしている	今後生かしたい	わからない	特に生かしていない／特に生かすつもりはない	無回答
1,235	6.3	18.9	25.0	27.0	22.7

問12 学習成果をどのようなことに生かしているか、学習成果をどう生かしたいか。エ. 他の方の学習や文化活動の指導					
調査数	現在生かしている	今後生かしたい	わからない	特に生かしていない／特に生かすつもりはない	無回答
1,235	3.2	12.1	26.6	32.6	25.4

問12 学習成果をどのようなことに生かしているか、学習成果をどう生かしたいか。オ. 町会などの地域活動					
調査数	現在生かしている	今後生かしたい	わからない	特に生かしていない／特に生かすつもりはない	無回答
1,235	7.5	13.8	26.1	29.9	22.9

問12 学習成果をどのようなことに生かしているか、学習成果をどう生かしたいか。カ. 自身の健康維持、健康増進					
調査数	現在生かしている	今後生かしたい	わからない	特に生かしていない／特に生かすつもりはない	無回答
1,235	26.5	30.1	16.5	13.4	13.8

問13 一緒に生涯学習活動をする仲間がいるか					
調査数	仲間がいる	仲間がほしいと思っているがいらない	仲間はいないが特にほしいと思っていない	その他	無回答
1,235	26.1	22.0	44.0	2.1	5.8

問14 活動できる場が充実していると感じるか					
調査数	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	わからない	無回答
1,235	5.6	27.0	20.2	43.6	3.6

問15 より成果を生かせるようになるにはどんな取り組みが必要か											
調査数	生涯学習の成果の活用事例を収集、紹介する	生涯学習の成果を生かせる参加型イベントの開催	活動の場の整備・提供	活動に必要な情報の提供	ステップアップ講座など、より広く、深く学べる機会の提供	団体の設立・運営支援	講師登録	ボランティア登録	企業へのはたらきかけ(従業員への学習費用補助、ボランティア休暇制度など)	その他	無回答
1,235	32.9	32.8	37.2	45.1	22.5	6.8	6.6	9.6	14.8	4.3	9.8

4 地域の子どもたちに対する考えについて

問16 地域の子どもたちにしてほしい休日の過ごし方											
調査数	学習塾などの勉強	有料の習い事などでの学習	文化サークル、子ども会等の地域活動	図書館・博物館・青少年会館・児童館等の公共施設で過ごす(イベントや講座への参加を含む)	学校の部活動	友達と屋外で遊ぶ	友達と屋内で遊ぶ	家族でレクリエーションや旅行	家で勉強や読書	その他	無回答
1,235	10.1	10.5	41.4	47.4	38.3	71.5	19.1	52.2	22.8	4.7	4.1

問17 休日に地域の子どもたちが大人と生涯学習活動をするのにふさわしい場所							
調査数	地域の広場・公園	小中学校の教室・体育館・校庭	公民館・図書館・博物館等	青少年会館・児童館・市民交流会館等	自宅	その他	無回答
1,235	59.2	51.7	54.2	49.6	8.6	3.2	4.0

問18 小中学校でボランティア活動に参加したいか						
調査数	参加したことがあり、今後も参加したい	参加したことはないが、今後は参加してみたい	参加したことはあるが、今後は参加したいと思わない	参加したことがなく、今後も参加したいと思わない	わからない	無回答
1,235	8.6	22.5	7.6	41.9	15.7	3.6

問19 興味がある小中学校でのボランティア活動									
調査数	授業におけるゲストティーチャー(講師)	授業における教員の補助(丸付けなどの手伝いや、支援を必要とする子どもへの対応)	部活動・クラブ活動の支援	学校行事の支援	読み聞かせや学校図書館の整備	花壇の整備、校舎の補修や清掃など学校環境整備	交通ボランティア	その他	無回答
384	19.5	36.2	31.8	40.4	27.3	25.8	22.1	2.6	1.3

問20 学校以外の子どもの学び支援ボランティアしたいか						
調査数	参加したことがあり、今後も参加したい	参加したことはないが、今後は参加してみたい	参加したことはあるが、今後は参加したいと思わない	参加したことがなく、今後も参加したいと思わない	わからない	無回答
1,235	6.6	21.5	6.2	42.5	16.7	6.5

問21 興味がある学校以外でのボランティア活動												
調査数	自然体験活動の機会提供	芸術鑑賞の機会提供	異年齢の子ども同士の交流の場づくり	子どもの居場所づくり	障がい者との交流の促進	国語、算数、英語等の学習支援	絵本、紙芝居等の読み聞かせ	昔遊びや伝統文化を教える活動	職業体験の機会提供	子どもたちと一緒にを行う環境美化、環境保護活動	その他	無回答
348	32.2	21.8	23.6	41.7	17.5	19.5	25.0	17.8	23.0	38.5	4.6	0.9

5 松戸市内の社会教育施設等について

問22A 各施設の利用有無_A. 矢切公民館				
調査数	利用経験あり	利用経験なし	わからない	無回答
1,235	5.0	68.3	3.2	23.4

問22A 各施設の利用有無_I. 文化ホール				
調査数	利用経験あり	利用経験なし	わからない	無回答
1,235	17.1	54.8	6.0	22.1

問22A 各施設の利用有無_U. 青少年会館(樋野口分館含む)				
調査数	利用経験あり	利用経験なし	わからない	無回答
1,235	12.7	60.2	4.3	22.8

問22A 各施設の利用有無_E. 松戸市民会館				
調査数	利用経験あり	利用経験なし	わからない	無回答
1,235	48.7	33.0	3.7	14.5

問22A 各施設の利用有無__オ. 松戸市民劇場				
調査数	利用経験あり	利用経験なし	わからない	無回答
1,235	34.6	43.9	4.0	17.6

問22A 各施設の利用有無__カ. 松戸市立図書館(子ども読書推進センター、分館含む)				
調査数	利用経験あり	利用経験なし	わからない	無回答
1,235	48.6	30.4	2.6	18.5

問22A 各施設の利用有無__キ. 戸定邸・戸定歴史館				
調査数	利用経験あり	利用経験なし	わからない	無回答
1,235	37.9	43.3	3.0	15.8

問22A 各施設の利用有無__ク. 松戸市立博物館				
調査数	利用経験あり	利用経験なし	わからない	無回答
1,235	30.5	45.3	4.3	19.8

問22A 各施設の利用有無__ケ. 森のホール21				
調査数	利用経験あり	利用経験なし	わからない	無回答
1,235	66.6	20.6	1.5	11.2

問22B 各施設の満足度(ハード)__ア. 矢切公民館					
調査数	満足である	普通である	不満である	わからない	無回答
62	8.1	64.5	12.9	6.5	8.1

問22B 各施設の満足度(ハード)__イ. 文化ホール					
調査数	満足である	普通である	不満である	わからない	無回答
211	14.7	64.9	8.1	4.3	8.1

問22B 各施設の満足度(ハード)__ウ. 青少年会館(樋野口分館含む)					
調査数	満足である	普通である	不満である	わからない	無回答
157	10.2	59.9	19.7	5.7	4.5

問22B 各施設の満足度(ハード)__エ. 松戸市民会館					
調査数	満足である	普通である	不満である	わからない	無回答
602	9.6	55.5	26.1	4.0	4.8

問22B 各施設の満足度(ハード)__オ. 松戸市民劇場					
調査数	満足である	普通である	不満である	わからない	無回答
427	16.2	62.8	11.2	4.2	5.6

問22B 各施設の満足度(ハード)__カ. 松戸市立図書館(子ども読書推進センター、分館含む)					
調査数	満足である	普通である	不満である	わからない	無回答
600	13.7	50.8	29.5	3.0	3.0

問22B 各施設の満足度(ハード)_キ. 戸定邸・戸定歴史館					
調査数	満足である	普通である	不満である	わからない	無回答
468	46.8	43.4	2.1	2.6	5.1

問22B 各施設の満足度(ハード)_ク. 松戸市立博物館					
調査数	満足である	普通である	不満である	わからない	無回答
377	33.7	54.9	5.0	2.7	3.7

問22B 各施設の満足度(ハード)_ケ. 森のホール21					
調査数	満足である	普通である	不満である	わからない	無回答
823	53.1	35.7	4.3	1.9	5.0

問22C 各施設の満足度(ソフト)_ア. 矢切公民館					
調査数	満足である	普通である	不満である	わからない	無回答
62	9.7	59.7	6.5	17.7	6.5

問22C 各施設の満足度(ソフト)_イ. 文化ホール					
調査数	満足である	普通である	不満である	わからない	無回答
211	14.7	58.8	6.6	10.0	10.0

問22C 各施設の満足度(ソフト)_ウ. 青少年会館(樋野口分館含む)					
調査数	満足である	普通である	不満である	わからない	無回答
157	13.4	56.1	10.8	16.6	3.2

問22C 各施設の満足度(ソフト)_エ. 松戸市民会館					
調査数	満足である	普通である	不満である	わからない	無回答
602	9.8	57.6	13.0	12.8	6.8

問22C 各施設の満足度(ソフト)_オ. 松戸市民劇場					
調査数	満足である	普通である	不満である	わからない	無回答
427	13.3	58.1	8.2	12.9	7.5

問22C 各施設の満足度(ソフト)_カ. 松戸市立図書館(子ども読書推進センター、分館含む)					
調査数	満足である	普通である	不満である	わからない	無回答
600	11.2	52.3	21.0	10.0	5.5

問22C 各施設の満足度(ソフト)_キ. 戸定邸・戸定歴史館					
調査数	満足である	普通である	不満である	わからない	無回答
468	30.3	51.3	3.6	6.4	8.3

調査数	問22C 各施設の満足度(ソフト)_ク. 松戸市立博物館				
	満足である	普通である	不満である	わからない	無回答
377	22.3	53.3	9.5	7.2	7.7

調査数	問22C 各施設の満足度(ソフト)_ケ. 森のホール21				
	満足である	普通である	不満である	わからない	無回答
823	37.8	45.3	5.0	6.4	5.5

調査数	問23 各施設に期待すること_ア. 矢切公民館													
	施設の老朽化への対応	駐車場の整備	設備の更新	予約のしやすさの向上	講座等の施設主催の催し物の実施	職員の適切な対応	施設や事業に関する情報提供の充実	所蔵資料等の貸出	閉館時間の延長	自習スペース等の学習しやすい環境の整備	自由に過ごせるスペースの充実	わからない	特になし	無回答
1,235	4.0	2.0	1.5	1.1	1.0	1.1	1.5	0.0	0.4	1.3	1.8	47.7	17.5	27.0

調査数	問23 各施設に期待すること_イ. 文化ホール													
	施設の老朽化への対応	駐車場の整備	設備の更新	予約のしやすさの向上	講座等の施設主催の催し物の実施	職員の適切な対応	施設や事業に関する情報提供の充実	所蔵資料等の貸出	閉館時間の延長	自習スペース等の学習しやすい環境の整備	自由に過ごせるスペースの充実	わからない	特になし	無回答
1,235	3.7	3.4	2.3	1.3	1.8	1.5	2.8	0.0	0.2	1.8	2.9	43.3	17.8	26.7

調査数	問23 各施設に期待すること_ウ. 青少年会館													
	施設の老朽化への対応	駐車場の整備	設備の更新	予約のしやすさの向上	講座等の施設主催の催し物の実施	職員の適切な対応	施設や事業に関する情報提供の充実	所蔵資料等の貸出	閉館時間の延長	自習スペース等の学習しやすい環境の整備	自由に過ごせるスペースの充実	わからない	特になし	無回答
1,235	5.8	2.8	2.5	2.0	1.7	1.4	2.1	0.0	0.3	2.3	3.0	44.0	16.6	27.0

調査数	問23 各施設に期待すること_エ. 松戸市民会館													
	施設の老朽化への対応	駐車場の整備	設備の更新	予約のしやすさの向上	講座等の施設主催の催し物の実施	職員の適切な対応	施設や事業に関する情報提供の充実	所蔵資料等の貸出	閉館時間の延長	自習スペース等の学習しやすい環境の整備	自由に過ごせるスペースの充実	わからない	特になし	無回答
1,235	27.0	12.2	9.6	2.8	3.1	2.4	4.5	0.0	0.7	2.1	4.4	26.8	15.5	20.7

調査数	問23 各施設に期待すること_オ. 松戸市民劇場													
	施設の老朽化への対応	駐車場の整備	設備の更新	予約のしやすさの向上	講座等の施設主催の催し物の実施	職員の適切な対応	施設や事業に関する情報提供の充実	所蔵資料等の貸出	閉館時間の延長	自習スペース等の学習しやすい環境の整備	自由に過ごせるスペースの充実	わからない	特になし	無回答
1,235	10.4	8.7	4.8	1.9	2.9	1.8	3.9	0.0	0.6	1.4	2.7	34.3	18.6	24.0

調査数	問23 各施設に期待すること_カ. 松戸市立図書館													
	施設の老朽化への対応	駐車場の整備	設備の更新	予約のしやすさの向上	講座等の施設主催の催し物の実施	職員の適切な対応	施設や事業に関する情報提供の充実	所蔵資料等の貸出	閉館時間の延長	自習スペース等の学習しやすい環境の整備	自由に過ごせるスペースの充実	わからない	特になし	無回答
1,235	15.3	8.7	11.3	2.5	3.0	3.1	4.6	4.7	7.5	14.3	12.2	24.8	16.4	21.4

調査数	問23 各施設に期待すること_キ. 戸定邸・戸定歴史館													
	施設の老朽化への対応	駐車場の整備	設備の更新	予約のしやすさの向上	講座等の施設主催の催し物の実施	職員の適切な対応	施設や事業に関する情報提供の充実	所蔵資料等の貸出	閉館時間の延長	自習スペース等の学習しやすい環境の整備	自由に過ごせるスペースの充実	わからない	特になし	無回答
1,235	2.8	4.6	2.8	0.8	2.7	1.8	5.1	0.0	1.5	0.8	3.6	33.8	26.8	23.1

調査数	問23 各施設に期待すること_ク. 松戸市立博物館													
	施設の老朽化への対応	駐車場の整備	設備の更新	予約のしやすさの向上	講座等の施設主催の催し物の実施	職員の適切な対応	施設や事業に関する情報提供の充実	所蔵資料等の貸出	閉館時間の延長	自習スペース等の学習しやすい環境の整備	自由に過ごせるスペースの充実	わからない	特になし	無回答
1,235	2.0	4.1	3.4	0.6	3.5	1.9	5.1	0.9	1.1	1.7	3.6	35.0	24.9	24.8

調査数	問23 各施設に期待すること_ケ. 森のホール21													
	施設の老朽化への対応	駐車場の整備	設備の更新	予約のしやすさの向上	講座等の施設主催の催し物の実施	職員の適切な対応	施設や事業に関する情報提供の充実	所蔵資料等の貸出	閉館時間の延長	自習スペース等の学習しやすい環境の整備	自由に過ごせるスペースの充実	わからない	特になし	無回答
1,235	3.6	7.0	6.6	6.3	5.4	3.5	8.3	0.0	1.2	2.2	8.1	18.9	32.3	19.1

問24 各施設情報ニーズ_ア. 矢切公民館								
調査数	施設のハード面の情報(設備、バリアフリー等)	施設利用案内	催し物の情報	所蔵資料等の情報	市が行った調査研究成果	わからない	特にな	無回答
1,235	4.0	6.5	10.4	0.0	0.0	26.4	32.8	26.6

問24 各施設情報ニーズ_イ. 文化ホール								
調査数	施設のハード面の情報(設備、バリアフリー等)	施設利用案内	催し物の情報	所蔵資料等の情報	市が行った調査研究成果	わからない	特にな	無回答
1,235	4.3	7.7	15.5	0.0	0.0	24.3	30.1	26.2

問24 各施設情報ニーズ_ウ. 青少年会館								
調査数	施設のハード面の情報(設備、バリアフリー等)	施設利用案内	催し物の情報	所蔵資料等の情報	市が行った調査研究成果	わからない	特にな	無回答
1,235	4.6	7.2	11.5	0.0	0.0	25.8	30.6	27.2

問24 各施設情報ニーズ_エ. 松戸市民会館								
調査数	施設のハード面の情報(設備、バリアフリー等)	施設利用案内	催し物の情報	所蔵資料等の情報	市が行った調査研究成果	わからない	特にな	無回答
1,235	8.3	10.0	26.4	0.0	0.0	17.3	27.1	22.8

問24 各施設情報ニーズ_オ. 松戸市民劇場								
調査数	施設のハード面の情報(設備、バリアフリー等)	施設利用案内	催し物の情報	所蔵資料等の情報	市が行った調査研究成果	わからない	特にな	無回答
1,235	5.7	7.7	25.3	0.0	0.0	19.8	27.3	23.4

問24 各施設情報ニーズ_カ. 松戸市立図書館								
調査数	施設のハード面の情報(設備、バリアフリー等)	施設利用案内	催し物の情報	所蔵資料等の情報	市が行った調査研究成果	わからない	特にな	無回答
1,235	9.4	12.5	16.3	12.0	1.9	15.4	26.5	22.9

問24 各施設情報ニーズ_キ. 戸定邸・戸定歴史館								
調査数	施設のハード面の情報(設備、バリアフリー等)	施設利用案内	催し物の情報	所蔵資料等の情報	市が行った調査研究成果	わからない	特にな	無回答
1,235	4.8	10.3	21.6	5.5	2.8	18.2	29.8	21.5

問24 各施設情報ニーズ_ク. 松戸市立博物館								
調査数	施設のハード面の情報(設備、バリアフリー等)	施設利用案内	催し物の情報	所蔵資料等の情報	市が行った調査研究成果	わからない	特にな	無回答
1,235	5.2	9.9	25.9	5.2	2.8	17.2	27.6	22.5

問24 各施設情報ニーズ_ケ. 森のホール21								
調査数	施設のハード面の情報(設備、バリアフリー等)	施設利用案内	催し物の情報	所蔵資料等の情報	市が行った調査研究成果	わからない	特にな	無回答
1,235	8.9	14.2	40.0	0.0	0.0	10.5	25.8	17.2

6 あなたご自身のことについて

問25 年代								
調査数	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答
1,235	2.0	6.6	12.1	15.5	17.7	19.2	24.6	2.3

問26 性別				
調査数	男性	女性	回答しない	無回答
1,235	43.1	53.8	0.7	2.4

問27 職業								
調査数	正社員・公務員・団体職員など	自営業(農業を含む)	アルバイトやパートなど(短期雇用契約社員・派遣社員を含む)	学生	専業主婦・主夫	収入のある仕事はしていない	その他	無回答
1,235	32.9	6.0	18.8	2.8	18.5	13.0	5.2	2.9

問28 家族構成						
調査数	単身世帯	夫婦のみ世帯(事実婚を含む)	親と子ども世帯の2世代世帯	親と子どもと孫の3世代以上の世帯	その他	無回答
1,235	14.3	29.1	43.8	4.4	5.3	3.2

問29 同居する方							
調査数	乳幼児・未就学児	小学生	中学生	高校生	65歳以上の方	該当なし	無回答
1,235	9.3	9.1	6.3	7.4	31.0	40.2	7.1

(3) 関係団体アンケート調査結果

1 貴団体の概況について

調査数	問1 活動分野													無回答
	書道・ペン習字	美術・工芸	音楽	踊り	文芸	歴史・読書・鑑賞	茶道・華道・囲碁・将棋	語学・話し方	押し花・折紙	健康・料理	育児・子ども	その他		
410	5.1	11.0	22.7	18.5	3.2	2.2	4.4	3.7	1.2	4.9	3.7	17.3	2.2	

調査数	問2 活動年数						無回答
	5年未満	5年以上10年未満	10年以上15年未満	15年以上20年未満	20年以上		
410	3.2	5.4	7.6	12.9	68.8	2.2	

調査数	問3 活動頻度							無回答
	週4～7回程度	週2～3回程度	週1回程度	月2回程度	月1回程度	年に数回程度		
410	6.6	7.1	41.0	22.9	13.2	5.9	3.4	

調査数	問4 主な活動場所												無回答
	団体の事務所(会員の自宅を含む)	矢切公民館	青少年会館(樋野口分館含む)	松戸市民会館	松戸市民劇場	松戸市立図書館(子ども読書推進センター、分館含む)	戸定邸・松雲亭	松戸市立博物館	森のホール21	松戸市内の市民センター	女性センター(ゆうまつど)	その他	
410	4.9	9.3	4.9	16.6	3.2	1.2	0.5	0.2	4.1	37.3	2.0	14.4	1.5

調査数	問5 活動目的_1番目												無回答
	趣味を豊かにする	教養を高める	他者との交流や知人を得る	地域活動へ参加する	ボランティア活動に必要な知識・技能を身につける	高度な専門知識を身につける	自由時間を有効に活用する	資格取得に役立つ	人生を有意義にする	仕事や就職、転職に役立つ	健康維持・増進や体力づくりをする	その他	
410	42.7	5.4	7.1	5.9	2.0	1.5	1.7	0.0	9.8	0.0	10.5	3.4	10.2

調査数	問5 活動目的_2番目												無回答
	趣味を豊かにする	教養を高める	他者との交流や知人を得る	地域活動へ参加する	ボランティア活動に必要な知識・技能を身につける	高度な専門知識を身につける	自由時間を有効に活用する	資格取得に役立つ	人生を有意義にする	仕事や就職、転職に役立つ	健康維持・増進や体力づくりをする	その他	
410	8.3	16.1	23.4	9.5	3.4	3.7	3.2	0.2	11.5	0.2	7.3	0.5	12.7

調査数	問5 活動目的_3番目												無回答
	趣味を豊かにする	教養を高める	他者との交流や知人を得る	地域活動へ参加する	ボランティア活動に必要な知識・技能を身につける	高度な専門知識を身につける	自由時間を有効に活用する	資格取得に役立つ	人生を有意義にする	仕事や就職、転職に役立つ	健康維持・増進や体力づくりをする	その他	
410	5.9	2.4	19.0	8.3	2.7	2.7	6.6	1.0	25.1	0.2	9.5	1.7	14.9

2 貴団体の「生涯学習活動」の状況について

調査数	問6 市による広報活動の支援への満足度						無回答
	大変満足である	満足である	どちらとも言えない	不満である	大変不満である		
410	5.4	42.7	33.9	10.2	1.5	6.3	

調査数	問7 困っていること_1番目												無回答
	会員の減少により規模が縮小している	新しい会員が来まらない	若い世代の会員が少ない	活動に費用がかかる	自らの団体が定期的に集まる場所が確保できない	活動の成果を生かす場や機会が少ない	適切な指導者や講師がいない	リーダーや役員のなり手がいない	活動に役立つ情報が得られない	活動内容をPRする情報発信ができない	特に困っていることはない	その他	
410	33.9	18.8	15.4	2.0	8.3	1.5	0.5	1.5	0.2	1.2	7.1	1.7	8.0

調査数	問7 困っていること_2番目												無回答
	会員の減少により規模が縮小している	新しい会員が来まらない	若い世代の会員が少ない	活動に費用がかかる	自らの団体が定期的に集まる場所が確保できない	活動の成果を生かす場や機会が少ない	適切な指導者や講師がいない	リーダーや役員のなり手がいない	活動に役立つ情報が得られない	活動内容をPRする情報発信ができない	特に困っていることはない	その他	
410	8.0	32.0	18.0	2.7	5.1	2.2	0.2	4.4	0.5	3.4	0.0	1.0	22.4

問7 困っていること_3番目													
調査数	会員の減少により規模が縮小している	新しい会員が集まらない	若い世代の会員が少ない	活動に費用がかかる	自らの団体が定期的に集まる場所が確保できない	活動の成果を生かす場や機会が少ない	適切な指導者や講師がいない	リーダーや役員のなり手がいない	活動に役立つ情報が得られない	活動内容をPRする情報発信ができない	特に困っていることはない	その他	無回答
410	6.1	6.3	22.2	4.4	3.9	3.7	1.7	8.0	1.0	8.5	0.0	0.7	33.4

問8 団体の活動に対して行政からどんな支援を望むか													
調査数	地域活動の拠点となる場所の提供	会員募集の支援	他団体との交流の支援	団体や活動についてのPR	活動上必要な情報の提供	団体運営上のアドバイス	備品などの支援	成果の発表の場や機会の支援	活動の機会を広げるコーディネーターの充実	特に必要な支援はない	その他	無回答	
410	43.7	54.9	10.2	31.0	9.5	3.9	22.0	23.7	2.2	7.1	4.9	4.9	

問9 活動のしやすさ(環境)													
調査数	公民館・図書館・博物館・美術館・劇場などの社会教育施設の充実	家庭教育学級や生涯学習講座などの社会教育事業	PTAや子ども会などの社会教育関係団体の活動支援	公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実	地域の芸能や祭りなどの継承・保存	歴史的な建物や遺跡などを生かしたまちづくりの推進	子育て講座の充実	子どもが地域活動に参画する機会の充実	特に必要ない	その他	無回答		
410	64.1	22.2	15.1	34.6	21.5	15.6	5.9	24.4	7.3	3.7	7.3		

問10 市民が松戸市の歴史・文化・伝統への理解をより深めるためのサポートとしてほしいこと													
調査数	市内小中学校で歴史・文化・伝統に関する学習、体験活動の講師となる	歴史・文化・伝統に関するイベント、講座等を主催する	行政や他団体が主催する歴史・文化・伝統に関するイベントに出展する	行政や他団体が主催する歴史・文化・伝統に関する講座等に参加する	団体の学習のテーマとして歴史・文化・伝統に関することを取り上げる	歴史・文化・伝統に関する情報を収集する	特になし	その他	無回答				
410	13.9	13.7	16.8	24.6	10.2	12.7	32.0	4.1	9.5				

3 貴団体が「生涯学習活動」をする上で収集、発信する情報ニーズ等について

問11 団体にとって必要な情報							
調査数	活動場所となる施設の情報	他団体の情報	イベント情報	貴団体の活動に関心がある市民の情報	特になし	その他	無回答
410	45.4	13.9	19.8	46.6	15.6	0.5	6.6

問12 団体の人数を増やす活動をしているか					
調査数	している	したいができていない	していない	その他	無回答
410	69.8	13.7	10.5	2.4	3.7

問13 会員募集の情報発信方法									
調査数	チラシ・パンフレットの作成	街頭やイベント会場などでの広報活動	ホームページの情報掲載	ツイッター、フェイスブック等のSNSの活用	公共施設での情報の掲示	「広報まつど」への情報掲載	ミニコミ誌(地域新聞等)への情報掲載	個人的ネットワークからの声かけ	その他
286	38.8	17.5	27.6	6.6	24.5	68.5	21.3	31.5	9.1

問14 「まつどまなびいネット」利用状況					
調査数	いつも利用している	ときどき利用している	あまり利用しない	利用したことがない	無回答
410	5.6	11.2	17.3	60.5	5.4

問15 「まつどまなびいネット」非利用理由									
調査数	アクセス方法がわからない	使い方がわからない	会員を増やしたくない	市の広報紙で充分	パソコンを持っていない	パソコンを使える会員が少ない	興味・関心がない	その他	無回答
248	32.3	30.6	2.0	18.5	7.7	13.7	11.3	18.1	4.0

4 貴団体の「生涯学習活動」の成果の活用について

問16 学習成果の活用の仕方													
調査数	町会自治会等主催の地域の祭への参加(成果発表を含む)	市の施設での文化祭への参加(成果発表を含む)	大会への参加	SNSなどインターネット上での成果発表	貴団体主催イベントの実施(体験教室、発表会等)	高齢者を対象としたボランティア活動	子どもを対象としたボランティア活動	小、中、高校等での学校教育支援活動	社会教育施設等でのボランティア活動	特に生かしていない・生かす機会がない	その他	無回答	
410	17.3	42.7	14.1	3.7	42.2	17.3	10.5	5.1	6.1	15.6	7.1	4.1	

		問17 活動したいと考えたとき、すぐに行えるような場が充実していると感じるか				
調査数	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	わからない	無回答	
410	16.8	31.2	30.7	13.7	7.6	

		問18 構成員以外との関わり							
調査数	イベント等を一緒にに行った	会員募集やイベントなどのPRをしてもらった	集会所などの場所を借りた	講師になった、なつてもらった	協賛・寄付をした、してもらった	特にない	その他	無回答	
410	36.1	11.0	12.7	7.3	4.4	40.2	2.7	8.5	

5 地域の子どもたちとの関わりについて

		問19 子どもたちに関わる事業の有無		
調査数	ある	ない	無回答	
410	19.5	71.5	9.0	

		問20 子どもたちに関わる事業の目的									
調査数	子どもたちの生きる力・コミュニケーション力を養う	子どもたちの居場所・遊び場の提供	子どもの創造性を育む	地域の歴史・自然に触れる機会提供	文化芸術に触れる機会提供	伝統芸能や祭りの担い手の次世代育成	国際交流・異文化交流の促進	活動成果の発表・機会提供	その他	無回答	
80	40.0	26.3	52.5	18.8	41.3	12.5	21.3	36.3	2.5	3.8	

		問21 子どもたちに関わる事業の対象年代							
調査数	幅広い年代が対象で、特に決まった対象は設けていない	乳幼児・未就学児と親	小学校低学年	小学校高学年	中学生	高校生	その他	無回答	
80	26.3	22.5	51.3	55.0	40.0	22.5	12.5	3.8	

6 松戸市内の社会教育施設等について

		問22A 各施設の利用有無__ア. 矢切公民館			
調査数	利用経験あり	利用経験なし	わからない	無回答	
410	16.8	28.8	0.5	53.9	

		問22A 各施設の利用有無__イ. 文化ホール			
調査数	利用経験あり	利用経験なし	わからない	無回答	
410	15.9	30.7	0.5	52.9	

		問22A 各施設の利用有無__ウ. 青少年会館(樋野口分館含む)			
調査数	利用経験あり	利用経験なし	わからない	無回答	
410	15.4	28.0	0.7	55.9	

		問22A 各施設の利用有無__エ. 松戸市民会館			
調査数	利用経験あり	利用経験なし	わからない	無回答	
410	41.2	21.0	0.2	37.6	

		問22A 各施設の利用有無__オ. 松戸市民劇場			
調査数	利用経験あり	利用経験なし	わからない	無回答	
410	26.6	26.1	0.2	47.1	

問22A 各施設の利用有無_カ. 松戸市立図書館(子ども読書推進センター、分館含む)				
調査数	利用経験あり	利用経験なし	わからない	無回答
410	6.3	32.0	1.0	60.7

問22A 各施設の利用有無_キ. 戸定邸・戸定歴史館				
調査数	利用経験あり	利用経験なし	わからない	無回答
410	8.5	30.2	0.7	60.5

問22A 各施設の利用有無_ク. 松戸市立博物館				
調査数	利用経験あり	利用経験なし	わからない	無回答
410	3.9	31.5	1.0	63.7

問22A 各施設の利用有無_ケ. 森のホール21				
調査数	利用経験あり	利用経験なし	わからない	無回答
410	27.8	23.2	0.2	48.8

問22B 各施設の満足度(ハード)_ア. 矢切公民館					
調査数	満足である	普通である	不満である	わからない	無回答
69	23.2	59.4	13.0	1.4	2.9

問22B 各施設の満足度(ハード)_イ. 文化ホール					
調査数	満足である	普通である	不満である	わからない	無回答
65	26.2	53.8	12.3	3.1	4.6

問22B 各施設の満足度(ハード)_ウ. 青少年会館(樋野口分館含む)					
調査数	満足である	普通である	不満である	わからない	無回答
63	11.1	54.0	25.4	4.8	4.8

問22B 各施設の満足度(ハード)_エ. 松戸市民会館					
調査数	満足である	普通である	不満である	わからない	無回答
169	19.5	49.1	26.6	0.6	4.1

問22B 各施設の満足度(ハード)_オ. 松戸市民劇場					
調査数	満足である	普通である	不満である	わからない	無回答
109	34.9	41.3	18.3	0.9	4.6

問22B 各施設の満足度(ハード)_カ. 松戸市立図書館(子ども読書推進センター、分館含む)					
調査数	満足である	普通である	不満である	わからない	無回答
26	19.2	53.8	19.2	0.0	7.7

問22B 各施設の満足度(ハード)_キ. 戸定邸・戸定歴史館					
調査数	満足である	普通である	不満である	わからない	無回答
35	48.6	34.3	8.6	0.0	8.6

問22B 各施設の満足度(ハード)_ク. 松戸市立博物館					
調査数	満足である	普通である	不満である	わからない	無回答
16	56.3	37.5	6.3	0.0	0.0

問22B 各施設の満足度(ハード)_ケ. 森のホール21					
調査数	満足である	普通である	不満である	わからない	無回答
114	53.5	30.7	9.6	0.0	6.1

問22C 各施設の満足度(ソフト)_ア. 矢切公民館					
調査数	満足である	普通である	不満である	わからない	無回答
69	20.3	65.2	5.8	4.3	4.3

問22C 各施設の満足度(ソフト)_イ. 文化ホール					
調査数	満足である	普通である	不満である	わからない	無回答
65	15.4	58.5	10.8	6.2	9.2

問22C 各施設の満足度(ソフト)_ウ. 青少年会館(樋野口分館含む)					
調査数	満足である	普通である	不満である	わからない	無回答
63	11.1	58.7	11.1	11.1	7.9

問22C 各施設の満足度(ソフト)_エ. 松戸市民会館					
調査数	満足である	普通である	不満である	わからない	無回答
169	18.9	50.3	12.4	7.7	10.7

問22C 各施設の満足度(ソフト)_オ. 松戸市民劇場					
調査数	満足である	普通である	不満である	わからない	無回答
109	28.4	45.0	12.8	3.7	10.1

問22C 各施設の満足度(ソフト)_カ. 松戸市立図書館(子ども読書推進センター、分館含む)					
調査数	満足である	普通である	不満である	わからない	無回答
26	15.4	57.7	19.2	3.8	3.8

問22C 各施設の満足度(ソフト)_キ. 戸定邸・戸定歴史館					
調査数	満足である	普通である	不満である	わからない	無回答
35	37.1	40.0	5.7	2.9	14.3

調査数	問22C 各施設の満足度(ソフト)_ク. 松戸市立博物館				
	満足である	普通である	不満である	わからない	無回答
16	50.0	37.5	0.0	0.0	12.5

調査数	問22C 各施設の満足度(ソフト)_ケ. 森のホール21				
	満足である	普通である	不満である	わからない	無回答
114	39.5	41.2	7.9	2.6	8.8

調査数	問23 各施設に期待すること_ア. 矢切公民館													無回答
	施設の老朽化への対応	駐車場の整備	設備の更新	予約のしやすさの向上	講座等の施設主催の催し物の実施	職員の適切な対応	施設や事業に関する情報提供の充実	所蔵資料等の貸出	閉館時間の延長	自習スペース等の学習しやすい環境の整備	自由に過ごせるスペースの充実	わからない	特にない	
410	11.7	7.3	5.9	3.4	0.5	1.2	0.2	0.0	0.2	0.5	2.4	14.9	8.3	58.8

調査数	問23 各施設に期待すること_イ. 文化ホール													無回答
	施設の老朽化への対応	駐車場の整備	設備の更新	予約のしやすさの向上	講座等の施設主催の催し物の実施	職員の適切な対応	施設や事業に関する情報提供の充実	所蔵資料等の貸出	閉館時間の延長	自習スペース等の学習しやすい環境の整備	自由に過ごせるスペースの充実	わからない	特にない	
410	2.9	7.6	3.4	4.9	1.7	1.5	1.7	0.0	1.5	0.7	2.7	14.4	9.3	60.7

調査数	問23 各施設に期待すること_ウ. 青少年会館													無回答
	施設の老朽化への対応	駐車場の整備	設備の更新	予約のしやすさの向上	講座等の施設主催の催し物の実施	職員の適切な対応	施設や事業に関する情報提供の充実	所蔵資料等の貸出	閉館時間の延長	自習スペース等の学習しやすい環境の整備	自由に過ごせるスペースの充実	わからない	特にない	
410	8.0	6.8	5.4	3.9	1.2	1.5	1.0	0.0	0.5	1.7	2.7	12.7	8.0	64.1

調査数	問23 各施設に期待すること_エ. 松戸市民会館													無回答
	施設の老朽化への対応	駐車場の整備	設備の更新	予約のしやすさの向上	講座等の施設主催の催し物の実施	職員の適切な対応	施設や事業に関する情報提供の充実	所蔵資料等の貸出	閉館時間の延長	自習スペース等の学習しやすい環境の整備	自由に過ごせるスペースの充実	わからない	特にない	
410	21.0	25.6	15.1	13.4	1.2	5.9	1.5	0.0	2.0	3.2	6.3	6.3	6.8	44.6

調査数	問23 各施設に期待すること_オ. 松戸市民劇場													無回答
	施設の老朽化への対応	駐車場の整備	設備の更新	予約のしやすさの向上	講座等の施設主催の催し物の実施	職員の適切な対応	施設や事業に関する情報提供の充実	所蔵資料等の貸出	閉館時間の延長	自習スペース等の学習しやすい環境の整備	自由に過ごせるスペースの充実	わからない	特にない	
410	6.3	18.5	9.5	9.5	2.2	1.2	2.7	0.0	1.7	0.7	2.7	9.3	8.5	54.1

調査数	問23 各施設に期待すること_カ. 松戸市立図書館													無回答
	施設の老朽化への対応	駐車場の整備	設備の更新	予約のしやすさの向上	講座等の施設主催の催し物の実施	職員の適切な対応	施設や事業に関する情報提供の充実	所蔵資料等の貸出	閉館時間の延長	自習スペース等の学習しやすい環境の整備	自由に過ごせるスペースの充実	わからない	特にない	
410	5.4	5.4	4.4	0.5	2.0	1.0	2.4	2.0	2.4	4.4	4.4	12.0	7.6	68.0

調査数	問23 各施設に期待すること_キ. 戸定邸・戸定歴史館													無回答
	施設の老朽化への対応	駐車場の整備	設備の更新	予約のしやすさの向上	講座等の施設主催の催し物の実施	職員の適切な対応	施設や事業に関する情報提供の充実	所蔵資料等の貸出	閉館時間の延長	自習スペース等の学習しやすい環境の整備	自由に過ごせるスペースの充実	わからない	特にない	
410	1.2	3.4	0.7	1.5	1.7	0.5	2.0	0.0	0.5	0.0	1.7	11.7	11.2	69.3

調査数	問23 各施設に期待すること_ク. 松戸市立博物館													無回答
	施設の老朽化への対応	駐車場の整備	設備の更新	予約のしやすさの向上	講座等の施設主催の催し物の実施	職員の適切な対応	施設や事業に関する情報提供の充実	所蔵資料等の貸出	閉館時間の延長	自習スペース等の学習しやすい環境の整備	自由に過ごせるスペースの充実	わからない	特にない	
410	0.7	1.2	1.0	0.5	2.0	0.2	1.0	1.2	1.0	0.7	1.5	13.4	11.5	70.2

問23 各施設に期待すること_ケ. 森のホール21														
調査数	施設の老朽化への対応	駐車場の整備	設備の更新	予約のしやすさの向上	講座等の施設主催の催し物の実施	職員の適切な対応	施設や事業に関する情報提供の充実	所蔵資料等の貸出	閉館時間の延長	自習スペース等の学習しやすい環境の整備	自由に過ごせるスペースの充実	わからない	特にない	無回答
410	2.2	2.0	3.9	8.8	3.9	1.7	3.7	0.0	0.5	1.0	4.9	9.3	14.9	57.3

問24 各施設情報ニーズ_ア. 矢切公民館								
調査数	施設のハード面の情報(設備、バリアフリー等)	施設利用案内	催し物の情報	所蔵資料等の情報	市が行った調査研究成果	わからない	特にない	無回答
410	7.8	5.4	5.9	0.0	0.0	11.2	17.3	58.5

問24 各施設情報ニーズ_イ. 文化ホール								
調査数	施設のハード面の情報(設備、バリアフリー等)	施設利用案内	催し物の情報	所蔵資料等の情報	市が行った調査研究成果	わからない	特にない	無回答
410	5.1	8.5	6.3	0.0	0.0	10.2	14.6	59.8

問24 各施設情報ニーズ_ウ. 青少年会館								
調査数	施設のハード面の情報(設備、バリアフリー等)	施設利用案内	催し物の情報	所蔵資料等の情報	市が行った調査研究成果	わからない	特にない	無回答
410	6.3	4.6	6.1	0.0	0.0	10.0	15.6	62.2

問24 各施設情報ニーズ_エ. 松戸市民会館								
調査数	施設のハード面の情報(設備、バリアフリー等)	施設利用案内	催し物の情報	所蔵資料等の情報	市が行った調査研究成果	わからない	特にない	無回答
410	16.1	9.5	8.3	0.0	0.0	5.6	22.2	47.3

問24 各施設情報ニーズ_オ. 松戸市民劇場								
調査数	施設のハード面の情報(設備、バリアフリー等)	施設利用案内	催し物の情報	所蔵資料等の情報	市が行った調査研究成果	わからない	特にない	無回答
410	9.5	8.8	8.3	0.0	0.0	8.3	17.8	56.1

問24 各施設情報ニーズ_カ. 松戸市立図書館								
調査数	施設のハード面の情報(設備、バリアフリー等)	施設利用案内	催し物の情報	所蔵資料等の情報	市が行った調査研究成果	わからない	特にない	無回答
410	4.6	3.2	3.7	4.6	2.2	9.8	14.6	65.4

問24 各施設情報ニーズ_キ. 戸定邸・戸定歴史館								
調査数	施設のハード面の情報(設備、バリアフリー等)	施設利用案内	催し物の情報	所蔵資料等の情報	市が行った調査研究成果	わからない	特にない	無回答
410	2.0	2.9	4.4	2.2	2.7	8.8	15.4	66.6

問24 各施設情報ニーズ_ク. 松戸市立博物館								
調査数	施設のハード面の情報(設備、バリアフリー等)	施設利用案内	催し物の情報	所蔵資料等の情報	市が行った調査研究成果	わからない	特にない	無回答
410	2.2	1.7	3.7	2.0	2.4	10.0	15.1	67.6

問24 各施設情報ニーズ_ケ. 森のホール21								
調査数	施設のハード面の情報(設備、バリアフリー等)	施設利用案内	催し物の情報	所蔵資料等の情報	市が行った調査研究成果	わからない	特にない	無回答
410	8.8	9.0	8.3	0.0	0.0	7.6	18.5	56.1

用語解説

○ウェルビーイング（うえるびーいんぐ）

身体的・精神的・社会的に良好な状態にあることを意味する概念です。

○学校教育（がっこうきょういく）

すべての国民に対して、人間形成の基礎として必要なものを共通に修得させるとともに、個人の特性に応じて豊かな個性と社会性の発達を助長する、もっとも組織的・計画的な教育の制度で、国民教育として普遍的な性格をもち、他の領域では期待できない教育条件と専門的な指導能力を必要とする教育を担当します。

○家庭教育（かていきょういく）

家庭は教育の原点であり、すべての教育の出発点です。親（保護者）は、人生初の教師として、豊かな情操や基本的な生活習慣、家庭や他人に対する思いやり、善悪の判断などの基本的倫理観や社会的なマナー、自制心、自立心などを養う上で、重要な役割を担っています。

○社会教育（しゃかいきょういく）

学校教育法に基づき、学校の教育課程として行われる教育活動を除き、主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動（体育及びレクリエーションの活動を含む）を指します。

○社会教育施設（しゃかいきょういくしせつ）

社会教育の奨励に必要な施設のことで、公民館や図書館、博物館などを指します。

○社会教育団体（しゃかいきょういくだんたい）

法人であると否とを問わず、公の支配に属しない団体で、社会教育に関する事業を行うことを主たる目的とするものです。

○スポーツ施設（すぽーつしせつ）

一般の利用に供する目的で地方公共団体が設置した体育館、水泳プール、運動場などのスポーツ施設です。

○文化施設（ぶんかしせつ）

劇場、音楽堂などを指し、文化芸術の創造、交流、発信の拠点や地域住民の身近な文化芸術活動の場として、国、地方公共団体、民間が設置している施設であり、芸術家や芸術団体などによる多様な文化芸術活動も行われます。

○リカレント教育（りかれんときょういく）

学校教育からいったん離れたあとも、それぞれのタイミングで学び直し、仕事で求められる能力を磨き続けていくことがますます重要になっている中で、社会人の学びをリカレント教育と呼んでいま

す。

○レファレンスサービス（れふぁれんすさーびす）

情報や資料を求めている利用者に対し、図書館員が図書館の資料と機能を活用して資料の検索を援助し、必要な情報や文献を紹介または提供する個人的援助のことをいいます。

○ICT（あいしーていー）

（Information and Communication Technology）

情報通信技術のことです。

○SDGs（えすでいーじーず）

（SDGs：Sustainable Development Goals＝持続可能な開発目標）

「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に統合的に取り組むため、2030年に向け、世界全体がともに取り組むべき普遍的な目標として掲げられました。

○Society5.0（そさえていー5.0）

サイバー空間(仮想)とフィジカル空間(現実)を融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会(Society)のことで、狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続く新たな社会を指し、我が国が目指すべき未来社会の姿として提唱されました。

第二次松戸市社会教育計画

令和5年1月

発行 松戸市教育委員会生涯学習部社会教育課
〒271-0092 松戸市松戸 1307-1 松戸ビルヂング4階
TEL：047-367-7813
FAX：047-360-0945